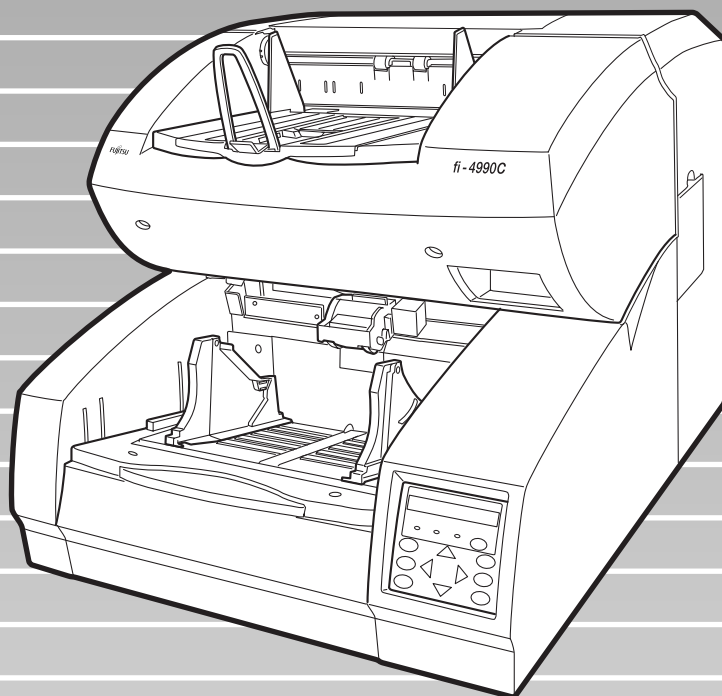


C150-E192-01

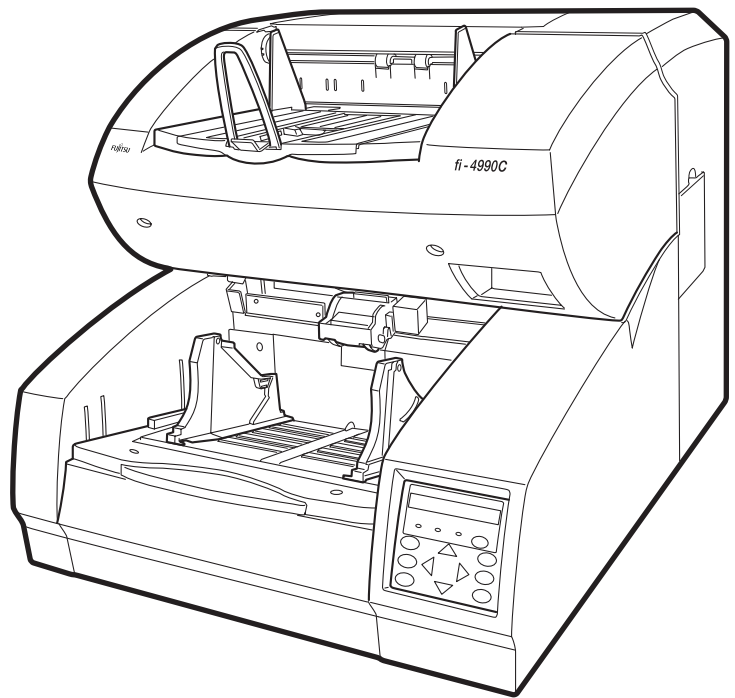
# fi-4990C イメージスキャナ

## オペレータガイド



FUJITSU

*fi-4990C*  
**イメージスキャナ**  
オペレータガイド



版数	発行日	改訂内容
01	2001年 2 月	初版
マニュアルコード: C150-E192-01		

## VCCI 適合基準について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

## お願い

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。

無断転載を禁じます。

落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

# 製品を安全に使用していただくために

---

## 本書の取扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。本製品を使用する前に本書をよくお読みください。

特に、本書に記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品をご使用してください。

本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。当社は、お客様の生命、身体や財産に被害をおよぼすことなく、安全に使っていただくために細心の注意を払っています。本製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

# はじめに

このたびは、fi-4990Cイメージスキャナ装置をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本スキャナの機能を十分発揮させるために、本書に従って正しくご使用ください。本マニュアルは、fi-4990Cイメージスキャナの使い方について説明しています。本スキャナにはオプションとしてエンドーサがありますが、本文中に使われているスキャナのイラストには、5章の外形寸法のものを除き、エンドーサは付いていません。

本マニュアルは、「構成部品」、「設置のしかたと接続のしかた」、「操作のしかた」、「原稿の指定」、「仕様」、「セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモード」の各章から構成されています。

fi-4990Cの日常の操作については、CD-ROM「リファレンスガイド」を参照してください。

CD-ROM「リファレンスガイド」には、「操作のしかた」、「清掃のしかた」、「部品の交換」、「日常の保守」、「異常時の処置」があります。

fi-4990Cは非常に高速、多機能のカラーイメージスキャナで、カラーCCD（電荷結合デバイス）イメージセンサを採用して、大容量のファイリングを可能にしました。本装置は両面読取、高品質なカラー画像を自動給紙（ADF）で処理することができます。

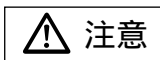
## 本文中の略語について

### 警告 / 注意の表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、お客様や他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

## 絵記号の意味



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



白抜きの丸で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

## 著作権に関するご注意

読み取った原稿は、創作、権利者の著作権法にかかるため、個人用途以外には、権利者の許可なしに使用できません。

## その他の表示マークについて

本書では、説明する内容により、以下の記号を使用しています。



本装置を使う際の使い方のヒント、便利な機能、参考にしていただきたい内容について説明しています。必要に応じてお読みください。

# 安全上のご注意

## 警告事項一覧



本マニュアル中に記載されている重要な警告事項は以下のとおりです。

### 設置時



分解禁止

#### 火災・感電

装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。



感電注意

#### 感電

オプション機器の取付けや取外しを行う場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに、手順に従って行ってください。



#### 設置・移転

スキャナのどの部分も机から突き出さないように置いてください。装置を動かしたり移転するときは、決して一人で行わないでください。また、装置は底部を水平にしてください。

### 接続時



#### 火災・感電

本装置はアース接続を必要としています。電源ケーブルは必ず3ピンのコンセントに接続してください。アース接続ができない場合は、販売会社(または保守サービスセンタ)にご相談ください。



感電注意

#### 火災・感電

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、たこ足配線をしないでください。



感電注意

#### 感電

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



#### 火災

電源プラグの金属部、および金属部の取付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。



一般的禁止

#### 火災・感電

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。



一般的禁止

#### 火災・感電

電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

### 操作時



#### 火災・感電

万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、販売会社(または保守サービスセンター)にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。





一般的禁止

火災・感電

開口部(通風口など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



一般的禁止

火災・感電

機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社(または保守サービスセンター)にご連絡ください。

## 注意事項一覧



**注意**

本マニュアル中に記載されている注意事項は以下のとおりです。

### 設置時



一般的禁止

転倒・落下

装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。



一般的禁止

火災・感電

直射日光の当たる所や暖房機の近く、湿気、ホコリの多い所には置かないでください。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。



一般的禁止

#### 火災

装置の内部が高温になるため、通気口をふさがないでください。



一般的禁止

#### 転倒・落下

装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。



#### 火災・感電・転倒・落下

機器を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。



一般的禁止

#### 誤動作

強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

### 接続時



#### 火災・故障

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。



一般的禁止

#### 火災・感電

電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグ部分を持ってコンセントから抜いてください。



感電注意

#### 火災

複写機やシュレツダのような消費電力の大きい機器と同じコンセントから、電源をとらないでください。

## 操作時



一般的禁止

火災・故障

コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。



一般的禁止

火災・感電

本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。



一般的禁止

火災・感電

異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社（または保守サービスセンター）にご連絡ください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



回転物注意

巻き込み

歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。



火災・感電

長期間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



破損

近くで雷が発生したときは、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。入れたままにしておくと、機器が破損することがあります。

# 目次

## 第1章 構成部品

構成部品のチェック .....	1-1
ユニットと取り外し可能部品 .....	1-2
オペレータパネル .....	1-5
ブザー .....	1-8

## 第2章 設置のしかたと接続のしかた

事前のご注意 .....	2-1
検査 .....	2-4
ケーブルの接続 .....	2-6

## 第3章 操作のしかた

事前のご注意 .....	3-1
電源の投入のしかた .....	3-3
オペレータパネルの基本操作 .....	3-4

## 第4章 原稿の指定

原稿のサイズ .....	4-1
原稿の紙質 .....	4-2
原稿の制限 .....	4-5
地色領域 .....	4-7
ドロップアウトカラー .....	4-8
特殊用紙 .....	4-9

## 第5章 仕様

設置仕様 .....	5-1
外形寸法 .....	5-2
消耗品 .....	5-3
オプション .....	5-4

## 第6章 セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモード

セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモード .....	6-1
セットアップモードまたはブラウズモードの起動 .....	6-2
セットアップモードまたはブラウズモードの内容 .....	6-4
テストモードの起動 .....	6-50
テストモードの内容 .....	6-52

索引 .....	IN-1
----------	------

## 1 構成部品

構成部品

## 2 設置のしかたと接続のしかた

設置のしかたと  
接続のしかた

## 3 操作のしかた

操作のしかた

## 4 原稿の指定

原稿の指定

## 5 仕様

仕様

## 6 セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモード

セットアップモード  
ブラウズモード  
およびテストモード

## 索引

索引

## 画像処理機能 ユーザーズガイド

画像処理機能  
ユーザーズガイド

# 1

## 構成部品

---

スキャナを開梱したら、すべての構成部品が入っているかを確認します。この章では、スキャナの構成部品、部品名、オペレータパネルの配列と機能について説明します。

構成部品のチェック

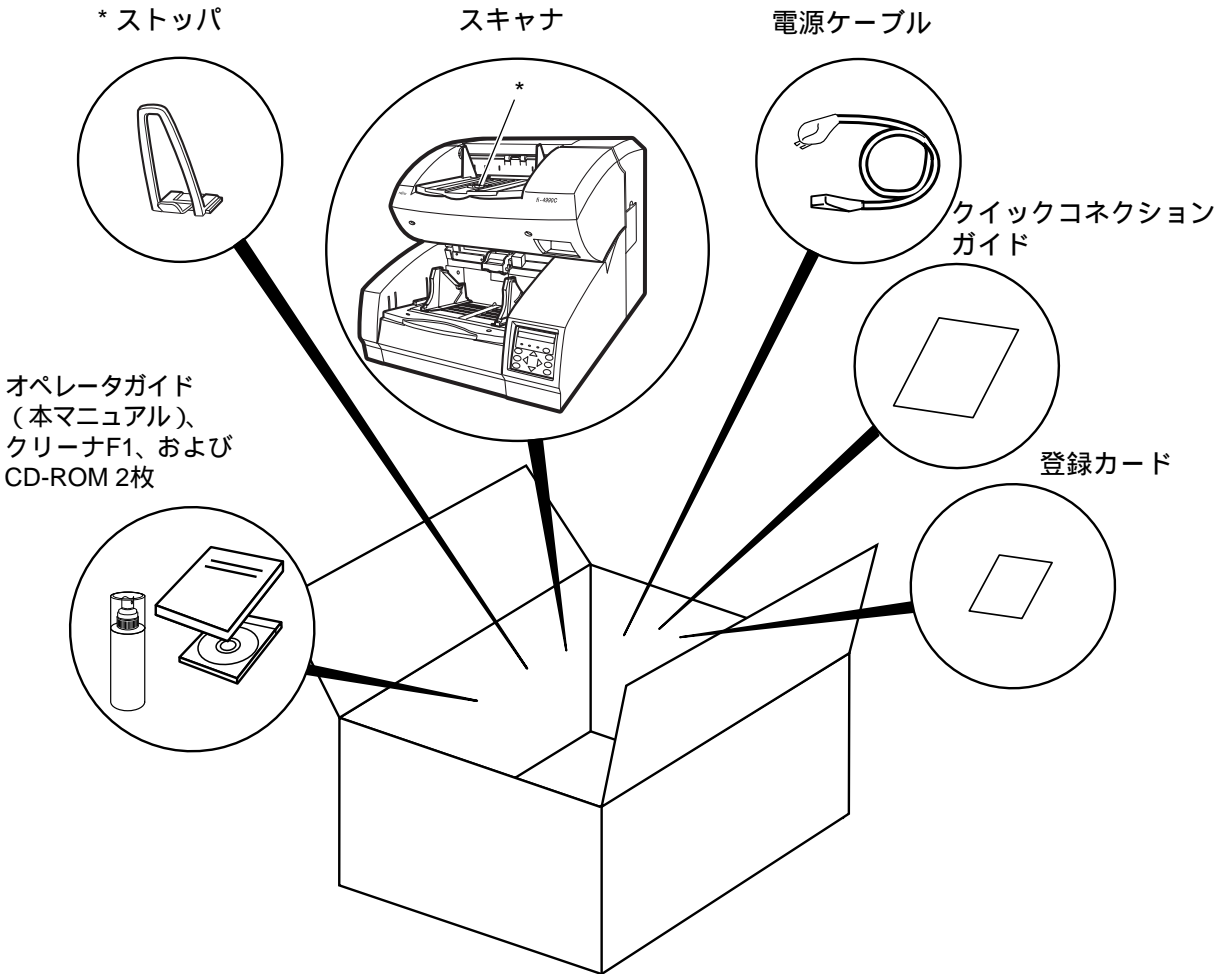
ユニットと取り外し可能部品

オペレータパネル

ブザー

# 構成部品のチェック

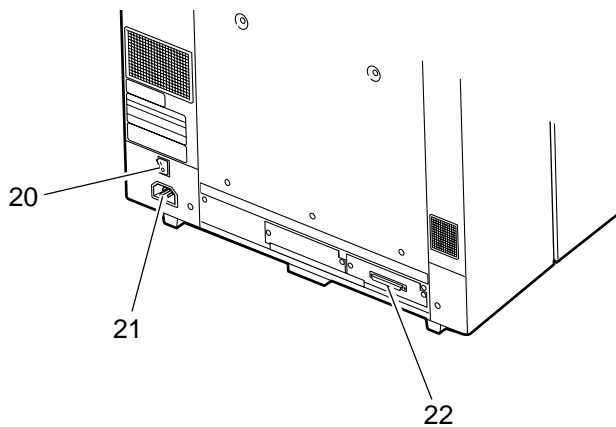
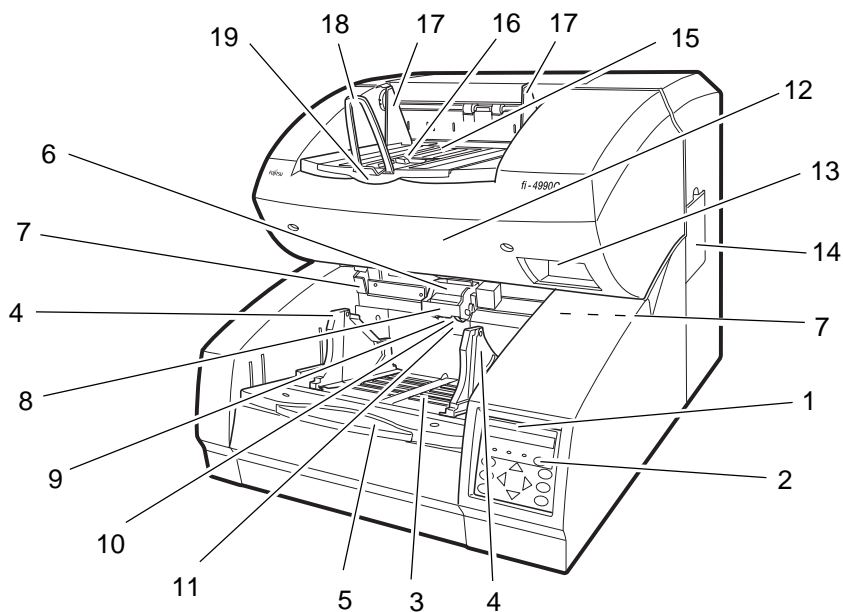
本装置の構成部品は高精度であるため、充分注意して扱ってください。  
以下の図に示すすべての構成部品があることを確認します。スキャナのスタッカ上にストッパを取り付けます。  
見付からない構成部品があれば、販売代理店にご連絡ください。



# ユニットと取り外し可能部品

この節では、スキャナの外面図と組立品を示します。各部品の名前とそれらの機能についても説明します。

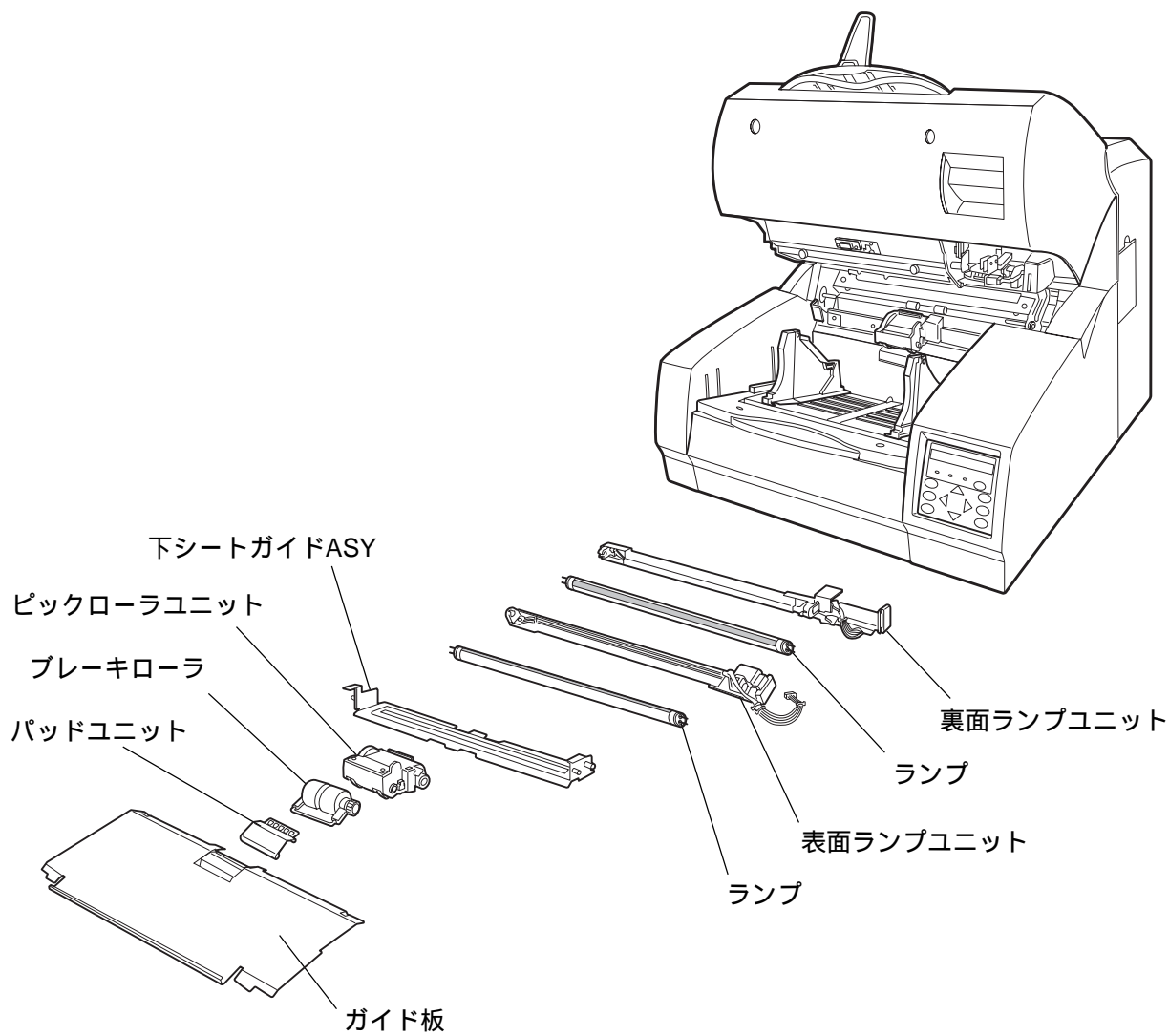
## ■ ユニット





No.	名 称	機 能
1	オペレータパネル	スキャナを操作するために使用します。
2	電源スイッチ	電源を投入/切断するために使用します。
3	ホッパ	原稿給紙カセット。
4	ホッパガイド	原稿の幅を調節するために使用します。
5	ホッパエクステンション	長い原稿用に使用します。
6	ADF (オートマテックドキュメントフィーダ)	原稿を自動的に繰り込みます。
7	ADFレバー	ADFを開くために使用します。
8	ピックアップユニット	ホッパから1番上の原稿を繰り込みます。
9	ガイド板	パッドユニットを取り付ける板です。
10	パッドユニット	ホッパから1番上の原稿を分離します。
11	プレーキローラ	ホッパから1番上の原稿を分離します。
12	上搬送ユニット	開けると作業が容易にできます。
13	レバー	上搬送ユニットを開けるために使用します。
14	サイドカバー	開けて裏面ランプを扱います。
15	スタッカ	原稿排出トレイ。
16	小ストップ	スタッカに排出される短い原稿の長さ方向の整理をします。
17	スタッカガイド	スタッカに排出される原稿幅の整理をします。
18	ストップ	スタッカに排出される原稿の長さ方向の整理をします。
19	スタッカエクステンション	長い原稿用に使用します。
20	電源主スイッチ	スキャナに電力を供給します。
21	インレット	電源ケーブル接続。
22	インタフェースコネクタ	SCSIインタフェース。

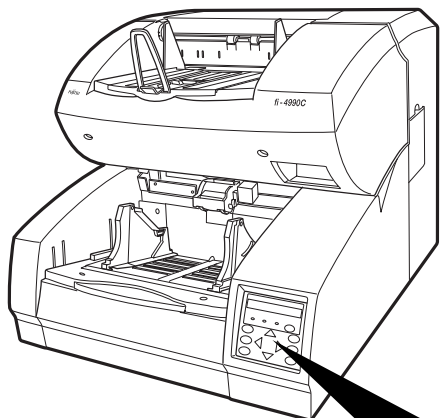
## ■ 取り外し可能部品



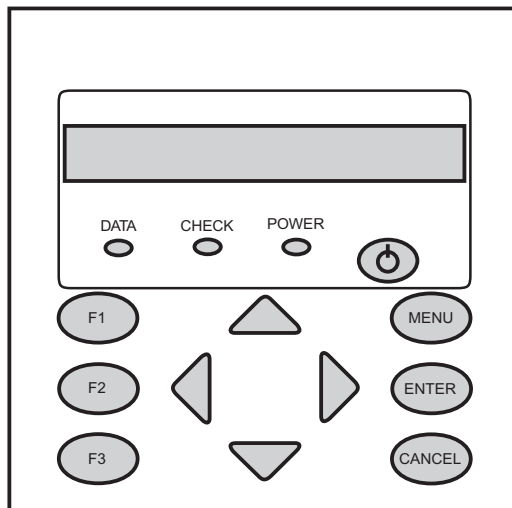
# オペレータパネル

オペレータパネルは、スキャナの下部右側にあります。このパネルは、LCD（24文字×2行）、LED、ボタンから構成されています。










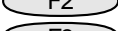
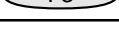
## ■ 配列






オペレータパネル




## ■ ボタン/LEDの機能

ボタン名	機 能
	電源主スイッチが「I」にセットされているときに電源を投入/切断します。
	スキャナをセットアップモードまたはブラウズモードにセットします（第6章を参照）。 セットアップモードは、スキャナをカスタマイズするために使用します。ブラウズモードは、スキャナの状態を表示するために使用します。テストモードは、スキャナをオフラインでテストするために使用します。
	セットアップモード、ブラウズモードまたはテストモードで使用します。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーがあれば、クリアします。</li> <li>セットアップモード、ブラウズモードまたはテストモードで使用します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノーマルモードでエラーなしのときホップを持ち上げます。</li> <li>セットアップモード、ブラウズモードまたはテストモードで使用します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノーマルモードでエラーなしのときホップを下ろします。</li> <li>セットアップモード、ブラウズモードまたはテストモードで使用します。</li> </ul>
	セットアップモード、ブラウズモードまたはテストモードで使用します。
	セットアップモード、ブラウズモードまたはテストモードで使用します。
  	セットアップモードで機能の定義時に、ショートカットとして使用します。

LED	機 能
	電源が投入されているときに点灯します。
	イメージバッファにデータがあるときに点灯します。
	装置エラーが発生すると点滅します。

## ■ LCD表示

LCD	機 能
	装置のステータスまたはエラー内容を表示します。

## 操作ステータス表示

電源を投入すると、LCDはノーマルモードで以下のメッセージを表示します。

シバラクオマチクダサイ

しばらくお待ちください。これは処理に時間がかかるときに表示されます。  
電源を投入した後に本メッセージが表示された場合には、2行目は初期化メッセージが表示されます。

ドウサカノウ

スキャナがホストコンピュータからのコマンドを受信でき、セットアップモードまたはブラウズモードに入ることができます。

テソウニユウ

原稿を手動でホップテーブルにセットします。

ヨミトリチュウ

原稿がスキャナに搬送されています。2行目には一連の原稿のうち、すでに搬送された枚数が表示されます。

## エラーステータス表示

スキャナがエラーを検出すると、LCDは以下のメッセージを表示します。エラーには、一時エラーと装置エラーの2つのタイプがあります。

一時エラー（例）:

以下のメッセージの指示に従えば、メッセージはクリアされます。

ホッパエンプティ

ピックミス

カバーオープン

装置エラー（例）:

メッセージをクリアするためには、指定された部品を清掃するか、交換する必要があります。

コウガクケイヨゴレ(オモテメン)

コウガクケイヨゴレ(ウラメン)

# ブザー

スキャナには、エラーが発生したこと、またはオペレータパネルボタンが押されたことを知らせるブザーが付いています。第6章「セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモード」の「ブザー」の手順に従えば、ブザー機能の設定をON/OFFにすることができます。

サウンド条件	機能
エラー発生	連続して音がします。どれかのボタンを押すか、電源を切断すると、ブザーが鳴り止みます。ボタンを押しても、スキャナはエラー表示を続けます。
ボタン押し下げ	短く音が鳴ります。この音はブザーセットアップで無効にすることはできません。

# 2

## 設置のしかたと接続のしかた

---

この章では、スキャナの設置のしかたと接続のしかたについて説明します。

事前のご注意

検査

ケーブルの接続

# 事前のご注意

この節では、スキャナを設置したり接続したりするときの安全上の注意事項について説明します。

## ■ 設置時の注意

スキャナを以下の場所や環境に設置しないでください。

設置場所のスペースなどについては、第5章「仕様」を参照してください。



火災・感電

装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。



感電

オプション機器の取付けや取外しを行う場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに、手順に従って行ってください。



設置・移転

スキャナのどの部分も机から突き出さないように置いてください。装置を動かしたり移転するときは、決して一人で行わないでください。また、装置は底部を水平にしてください。



転倒・落下

装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。



火災・感電

直射日光の当たる所や暖房機の近く、湿気、ホコリの多い所には置かないでください。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。





一般的禁止

火災

装置の内部が高温になるため、通気口をふさがないでください。



一般的禁止

転倒・落下

装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。



火災・感電・転倒・落下

機器を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。



一般的禁止

誤動作

強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

## ■ 接続時の注意



火災・感電

本装置はアース接続を必要としています。電源ケーブルは必ず3ピンのコンセントに接続してください。アース接続ができない場合は、販売会社（または保守サービスセンター）にご相談ください。



感電注意

火災・感電

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、たこ足配線をしないでください。



感電注意

感電

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



火災

電源プラグの金属部、および金属部の取付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。



一般的禁止

火災・感電

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。



一般的禁止

火災・感電

電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。



注意



火災・故障

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。



一般的禁止

火災・感電

電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグ部分を持ってコンセントから抜いてください。



感電注意

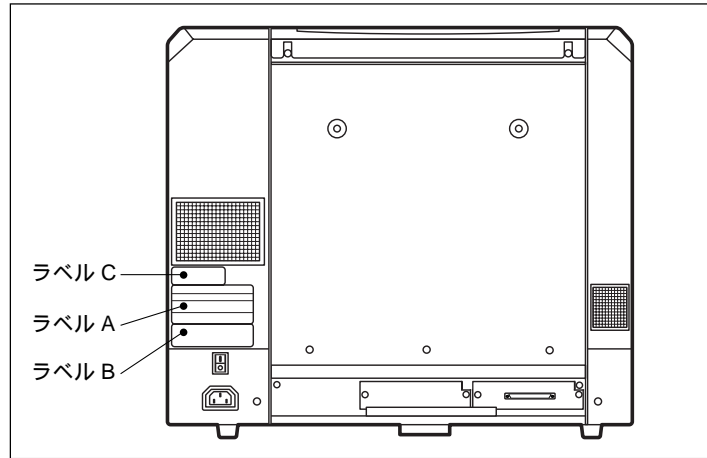
火災

複写機やシュレツダのような消費電力の大きい機器と同じコンセントから、電源をとらないでください。





# 検査

この節では、ラベルのチェックのしかたについて説明します。

## 3つのラベルの位置




## ラベルA (例)

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。		
VCCI-A		
This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.		
 LRS3350 <small>MTL/C</small>	 <small>TUV Rheinland</small>	 
電源を接続する前に必ず設置説明書をご覧ください。 See installation instructions before connecting to the supply. Voir la notice d'installation avant de raccorder au réseau. Bitte lesen sie die Bedienungs-Anleitung bevor sie das Gerät in Betrieb setzen.		

ラベルB (例)

MODEL	fi-4990C	IMAGE	SCANNER
PART NO.	CA04315-B101	AC100-240V	
SER. NO.		1 phase	50/60Hz
DATE	2001-02	2.9/1.5A	65 kgf
FUJITSU LIMITED		MADE IN	JAPAN



ラベルC (例)

MODEL NAME	fi-4990C
PART NO.	CA04315-B101
MODEL	- 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
REV.	- 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	- 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

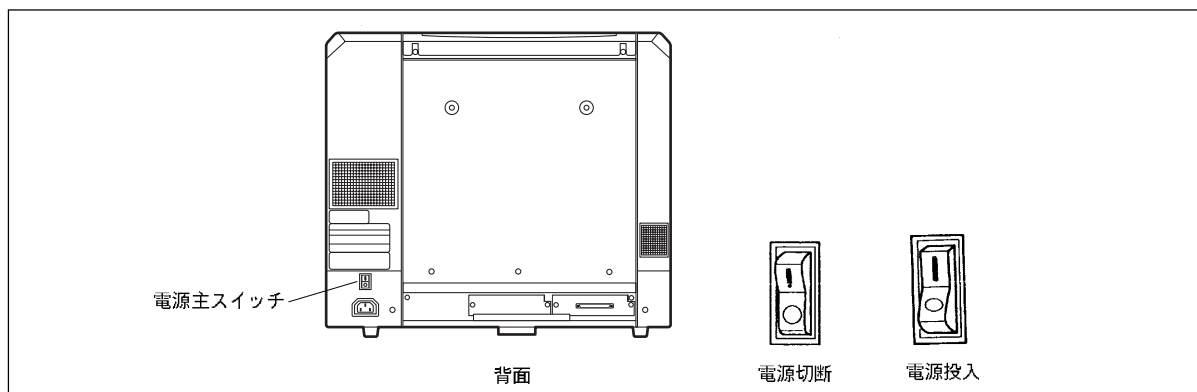
# ケーブルの接続

この節では、ケーブルの接続のしかたについて説明します。

ケーブルは以下のように接続します。

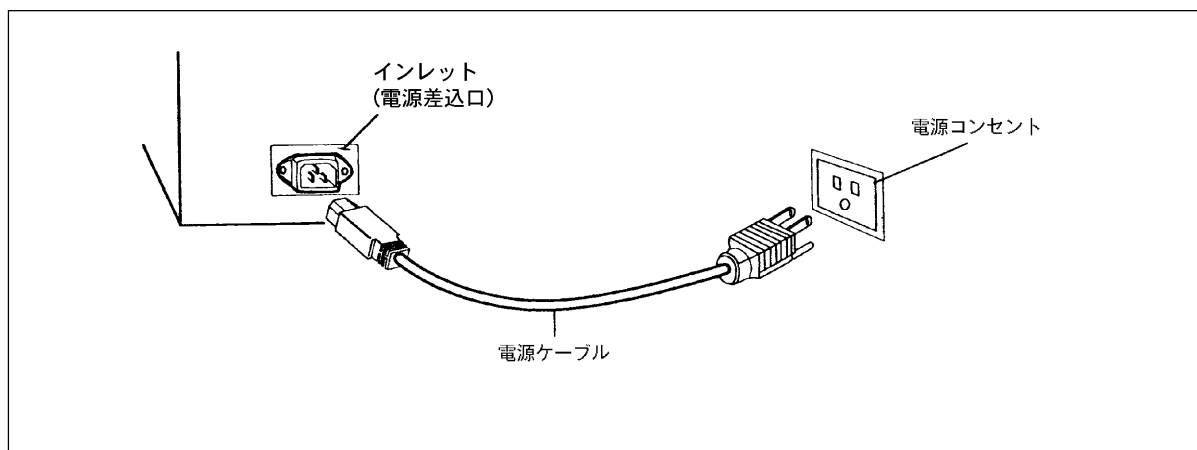
## ■ 電源主スイッチを切ります

電源主スイッチの「O」側を押して、電源を切断します。



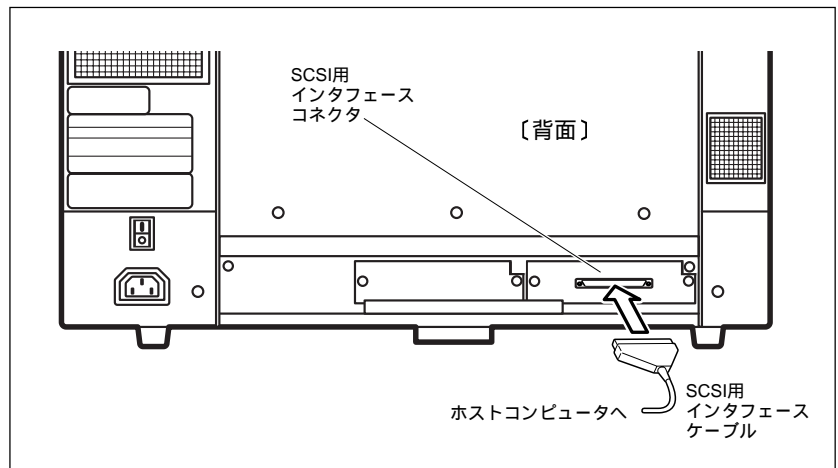
## ■ 電源ケーブルを接続します

電源ケーブルを装置のインレット（電源差込口）と電源コンセントに接続します。



## ■ インタフェースケーブルを接続します

SCSIインタフェースケーブルを接続し、フックやネジで固定します。



### 注

・SCSI-IDは出荷時にNo.5にセットされています。この設定を変更するには、第6章を参照してください。



# 3

## 操作のしかた

---

この章では、電源の投入のしかたとオペレータパネルの操作のしかた（基本操作）について説明します。原稿の挿入および上搬送ユニットの開けかた/閉めかたについては、CD-ROM「リファレンスガイド」を参照してください。

事前のご注意

電源の投入のしかた

オペレータパネルの基本操作



# 事前のご注意

この節では、装置を操作するときの安全上の注意事項について説明します。

スキャナを操作するときには以下のことがらに注意してください。



火災・感電

万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、販売会社（または保守サービスセンタ）にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。



一般的禁止

火災・感電

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



一般的禁止

火災・感電

機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社（または保守サービスセンタ）にご連絡ください。



一般的禁止

火災・故障

コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。



一般的禁止

火災・感電

本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。



一般的禁止

火災・感電

異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社（または保守サービスセンター）にご連絡ください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



回転物注意

巻き込み

歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。



火災・感電

長期間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



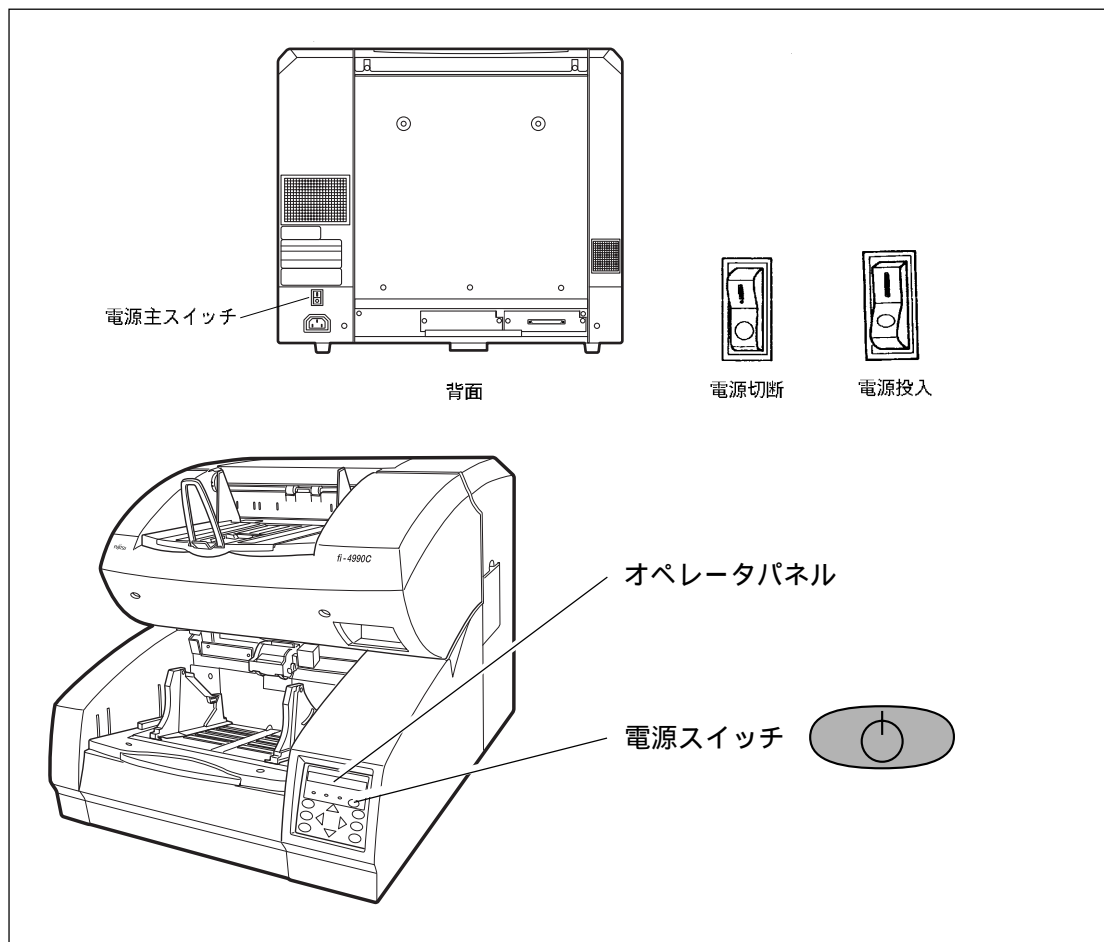
破損

近くで雷が発生したときは、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。入れたままにしておくと、機器が破損することがあります。

# 電源の投入のしかた

この節では、電源の投入のしかたについて説明します。

スキャナの背面にある電源主スイッチの「I」側を押します。オペレータパネルの電源スイッチを押します。電源が投入され、オペレータパネルの緑色の電源ランプが点灯します。



# オペレータパネルの基本操作

---

この節では、オペレータパネルの基本操作について説明します。この基本操作の中には、セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモードを使用できるモード選択への入りかたも含まれています。

## ■ エラーが発生した場合の詳細情報の表示

エラーが発生すると、「CHECK」LEDが点滅し、LCD上にエラーメッセージが表示されます。たとえば、LCDに以下のように表示されます。

ホッパエンプティ

**CANCEL** を押してエラーをクリアします（エラーによってはクリアできません）。

---

## ■ ホッパの上げ下げ

スキャナにエラーがない（「CHECK」LEDが点灯していない）場合、▲を押すとホッパが上がり、▼を押すとホッパが下がります。

### ⚠ 警告

ホッパの高低を調節する際、ホッパテーブルに触ったりホッパテーブルに物を置いて、指をはさまれないようにしてください。この機構の中に物がはさまれると、スキャナが損傷することがあります。

ドウサカノウ

と表示されていれば、この機能は有効です。

詳細は以下のとおりです。

- ・ 「データ」LEDが点灯していない（スキャナにデータが入っていない）
- ・ 読取操作が処理中でない
- ・ スキャナがテストモードでない（連続搬送テストを除く）
- ・ スキャナがセットアップモードまたはブラウズモードでない

ホッパは、ピック位置、あるいはセットアップモードでのホッパ高低調節に応じて250枚、500枚、1000枚の用紙位置で停止します。ピック位置では、スタック（用紙がホッパに挿入されていなければ、ホッパテーブル）の一番上の用紙がピックローラに位置合せされます。たとえば、250枚の用紙位置では、ホッパテーブルには約250枚の用紙をセットできます。

▲または▼を押すたびに、ホッパは位置が1ステップ分だけ上がり下がりします。給紙時に▲を押すと、ホッパはピック位置にまで上がります。

## ■ 消耗品アラームのクリア

本スキャナには、消耗部品の寿命を見積もる消耗品カウンタがあります。本カウンタが規定値になると、LCDに消耗部品の寿命が尽きたことを知らせるアラームが表示されます。たとえば、以下のようなメッセージが表示されます。

ショウモウヒンチェック  
AAAAAAAA MMMM

この場合、**CANCEL**を押します。LCDに以下のメッセージが表示されます。

ショウモウヒンカウンタ リセットシマス  
Yes:ENTER No:CANCEL

ハイ (**ENTER**を押す)：スキャナは、消耗品カウンタをゼロにリセットします。

イイエ (**CANCEL**を押す)：スキャナは、消耗品カウンタをリセットしません。この場合、次に用紙を給紙すると消耗部品の寿命を知らせるアラームが再度表示されます。

## ■ スキャナで処理される用紙枚数の確認

LCDには、オンラインまたはテストモード（連続搬送テスト）で読み取られる用紙枚数が表示されます。LCDには、以下のように枚数表示されます。

ヨミトリチュウ  
AAAAAAAA MMMM

値	内 容	説 明
AAAAAAAA	消耗品カウンタ	8桁の数字は、消耗品カウンタ値を示します。
MMMM	バッチカウンタ	1ホッパ毎の給紙した枚数を示します。

## ■ ファンクションボタン（F1、F2、F3）の使用

本スキャナには、手間のかかるセットアップ機能を1つのボタンに登録できるファンクションボタン（**F1**、**F2**、**F3**）があります。特定のセットアップ機能を頻繁に使用する場合、ショートカットキーとしてこれらのボタンを使用すると便利です。詳細については、第6章を参照してください。

セットアップ機能を割り当てることにより、ファンクションボタンを使用することができます。この割り当ては、セットアップモードで実行することができます。割り当てを設定すると、ファンクションボタンを押すだけで割り当て機能を簡単に呼び出すことができます。割り当て可能なセットアップ機能については、第6章を参照してください。

**ドウサカノウ**

と表示されていれば、このファンクションボタンは有効です。

詳細は以下のとおりです。

- ・ 「DATA」LEDが点灯していない（スキャナにデータが入っていない）
- ・ 読取操作が処理中でない
- ・ スキャナがテストモードでない
- ・ スキャナがセットアップモードまたはブラウズモードでない

セットアップモードがロック状態でもファンクションボタンは使用可能です。

## ■ セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモードの使用

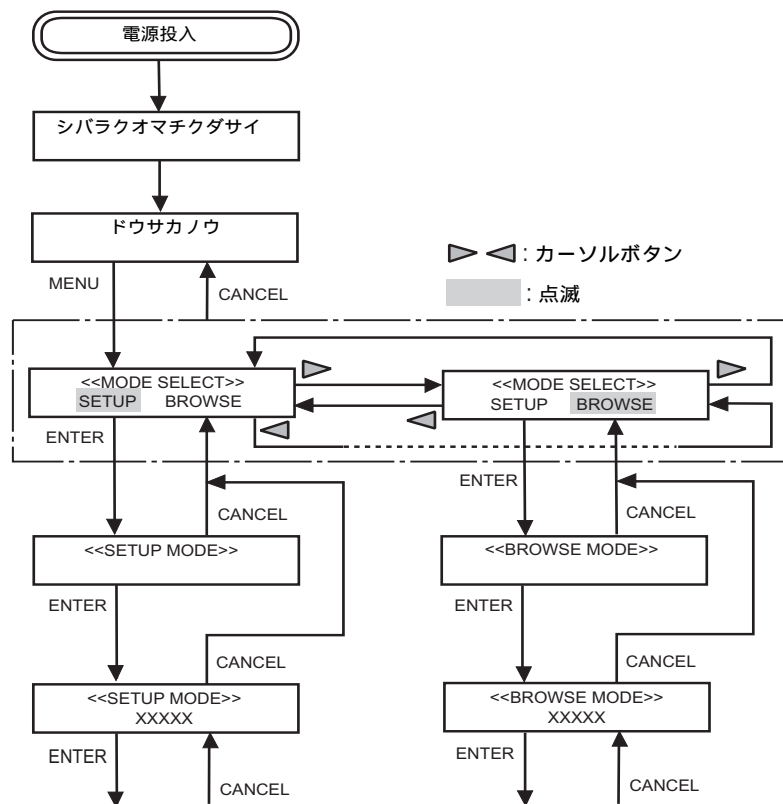
本スキャナには、カスタマイズ操作を行うセットアップモード、セットアップ状態の表示をするブラウズモード、およびオフラインでのテスト操作を行うテストモードがあります。

これらのモードに入るには、以下の2つの方法があります。

- ・ LCDに「ドウサカノウ」と表示されているときに **MENU** を押します。 [この場合、テストモードは使用できません。]
- ・ **MENU** を押しながら、電源を投入します。

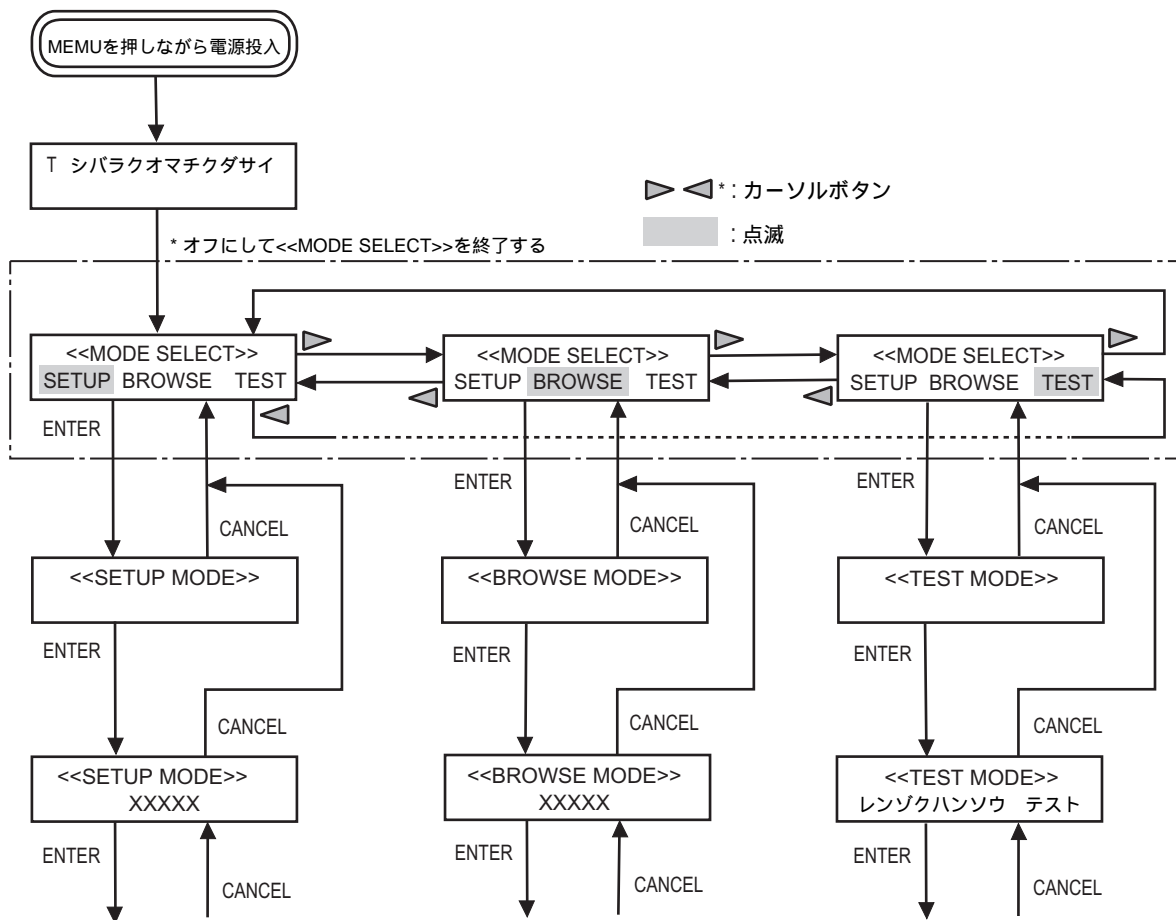
使用可能な機能は、この2つの方法では異なっています。詳細については、第6章を参照してください。

以下の方法で、セットアップモードとブラウズモードを使用することができます。





以下の方法で、セットアップモードとブラウズモードに加えてテストモードを使用することができます。これらのモードを終了するには、電源をオフにしてください。





# 4

## 原稿の指定

---

この章では、スキャナの前稿のサイズと前稿の紙質について説明します。

原稿のサイズ

原稿の紙質

原稿の制限

地色領域

ドロップアウトカラー

特殊用紙

# 原稿のサイズ

以下の図に、本スキャナが読み取ることができる原稿のサイズを示します。



スキャナ	最 大		最 小
	A	B	
fi-4990C	297 (11.7 インチ)	432 (17 インチ)	A7サイズ: 74( 2.9インチ )× 105( 4.1インチ ) 縦方向と横方向のどちらでも読 取可能

( 単位: mm )

# 原稿の紙質

この節では、本スキャナに使用できる原稿の種類と連量、および事前の注意について説明します。

## ■ 原稿の種類

原稿として推奨される用紙の種類は以下のとおりです。



下記指定用紙の使用をお願いします(ダブルフィードが発生したり、原稿が損傷することがあります)。

- ・ 上質紙
- ・ 普通紙
- ・ OCR用紙

ほかの種類用紙を使用するときには、予めADFでの搬送テストを行った上でご使用ください。

## ■ 原稿の連量

連量は以下のとおりです。

- ・ 45 ~ 110 kg (四六判連量)



四六判連量とは、788 mm × 1091 mm (四六判) の用紙 1000 枚の重量です。

## ■ 事前の注意

以下の原稿を読み取る場合は、注意してください。予期せぬエラーを防ぐためには、あらかじめ連続搬送テストをされることを推奨します。原稿が滑ってADFに入っていかなかったり（ペーパージャムエラー）、ダブルフィードが頻繁に発生したりする場合、6-17ページの「用紙分離力設定」を参照してください。

- ・ クリップやステーブルなどが付いた用紙（はずしてから使用してください）
- ・ インクが乾いていない用紙（乾いてから使用してください）
- ・ 紙厚が一定していない用紙（封筒など）
- ・ しわがよっていたり、カールしている用紙（次ページの注意を参照）
- ・ 折れたり、破れたりしている用紙
- ・ トレーシングペーパー
- ・ コート紙
- ・ カーボン紙
- ・ ノンカーボン紙
- ・ A7サイズより小さいか、A3サイズより大きい用紙
- ・ 紙以外のもの（布、金属箔...搬送できないことがあります。紙にコピーしてから使用してください）
- ・ 印画紙などの写真原稿
- ・ 端に切り込みのある用紙
- ・ 四角形でないもの

透明度の高い原稿を読み取る場合には、読み取り指定をライトモードにセットしてください。（指定はドライバの画面より設定してください）

ローラが汚れないようにするために、鉛筆で塗りつぶした原稿の読み取りは注意してください。たくさん原稿を読み取る場合は、できる限り頻繁にローラを清掃してください。用紙1000枚毎に1回清掃することを推奨します。

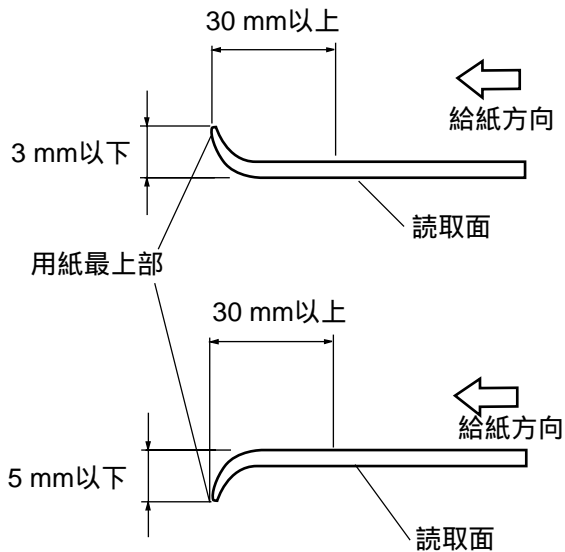
ノンカーボン紙によっては、化学成分がローラのゴムに反応してゴムを損傷させることがあります。使用される場合、注意してください。

ノンカーボン紙を使用する場合の推奨条件は以下のとおりです。

- ・ 連量は44 kg以上
- ・ ホッパ積載量は500枚以下

 注

- ・ノンカーボン紙を使用の場合、通常の2倍の頻度でローラを清掃してください。
- ・原稿は、以下の条件を満たすようにまっすぐ伸ばしてください。



- ・折れたりしわのあるカールした原稿を読み取る場合、スタッカ上にうまくスタックされないことがあります。

# 原稿の制限

ここでは、スキャナに読み取らせる原稿に対する制限項目を説明します。

## 穴あけ禁止領域

図4.1に示す黒い部分への穴あけは禁止されています。この場合、原稿サイズ検出エラー、用紙検出エラー、または紙詰まりが起こります。

特殊用紙の形状については4-9を参照して下さい。

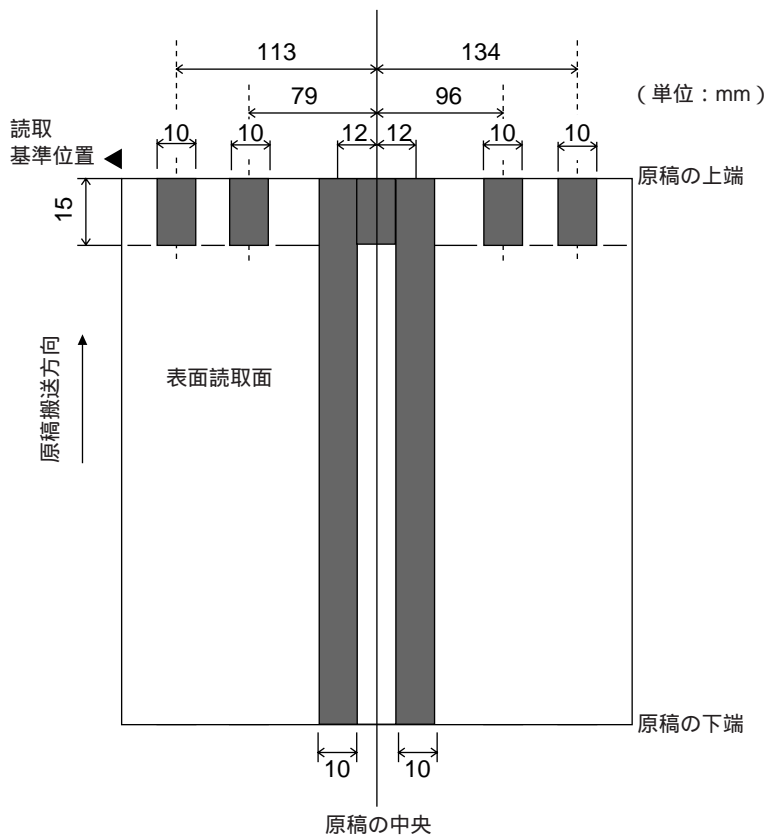


図4.1 穴あけ禁止領域



## 表面、裏面の印字禁止領域

原稿の領域Aに印刷があるときは、用紙サイズ誤検出することがあります。原稿の領域Bに印刷があるときは、まれにダブルフィードエラーとなります。図4.2に原稿の表面、裏面上の印字禁止領域を示します。ダブルフィード検出を行う場合は、本領域内の印字を推奨します。



注

図4.2の原稿は、読取面から見た原稿を示します。

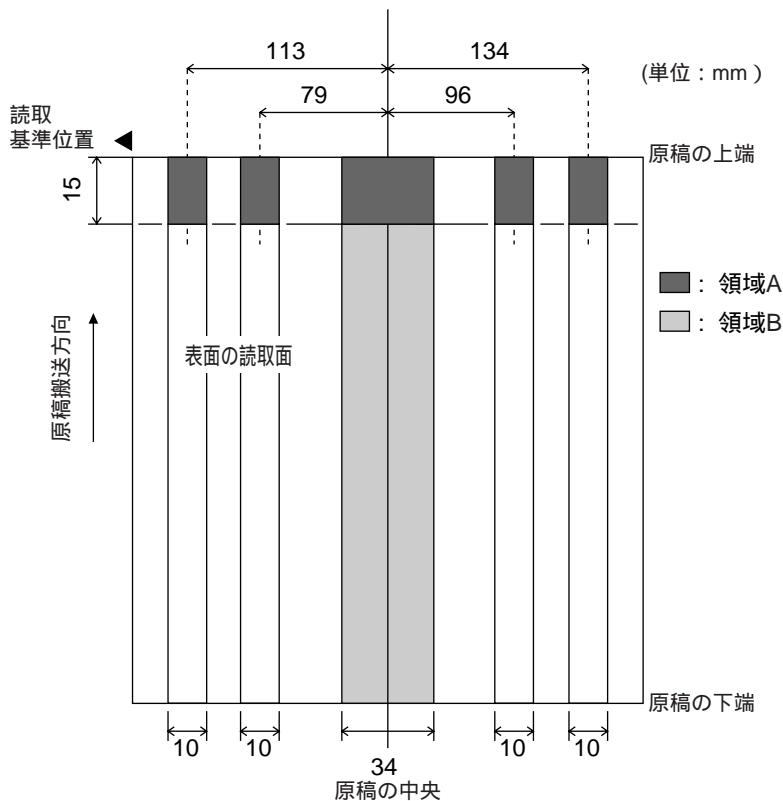


図4.2 表面、裏面の印字禁止領域

# 地色領域

図4.3に示すように読取領域（両面）の上端3mmは、白地（用紙の地色）とします。白地とする場合にはドロップアウトカラーとします。これが不可能な場合は、読み取りの際にコマンドの線画／写真の選択で“写真”を選択する必要があります。

なお、ドロップアウトカラーについては、4-8ページを参照してください。

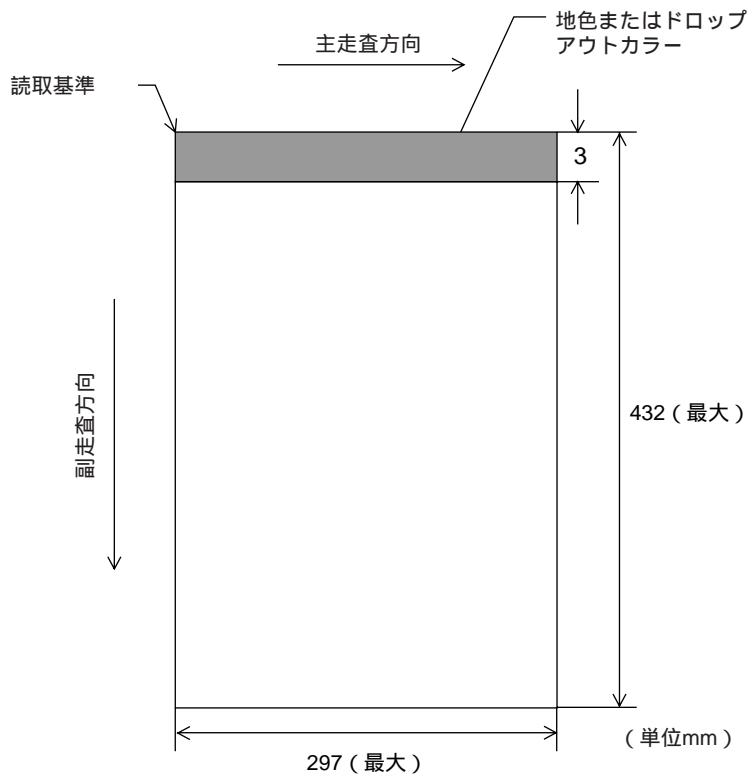


図4.3 地色領域

# ドロップアウトカラー

人間の目には見えてもスキャナでは読み取れないように工夫された印刷色をドロップアウトカラーと呼びます。

原稿の下地色がドロップアウトカラーかどうかを判定する場合には、次の方法および規格に準じてください。

## 印字濃度の測定

印刷濃度の測定に使用するスペクトルバンドを図4.4に示します。

測定は、次に示す方法で行います。

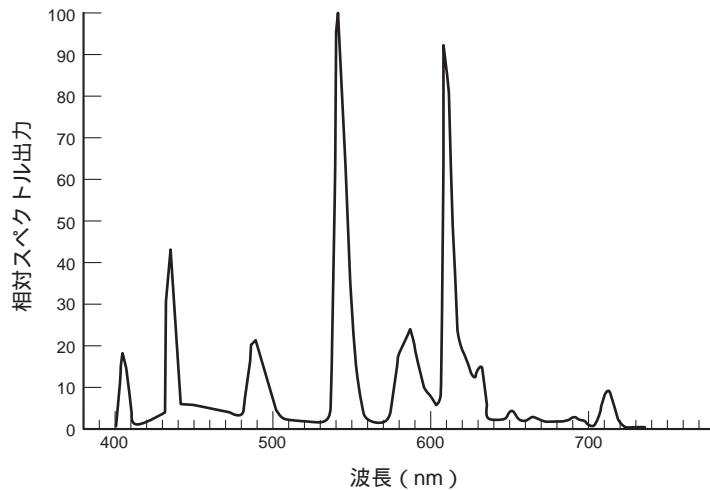


図4.4 スペクトルバンド

詳細は、販売店までお問合せください。

# 特殊用紙

## 形状

図4.5に特殊用紙形状を示します。

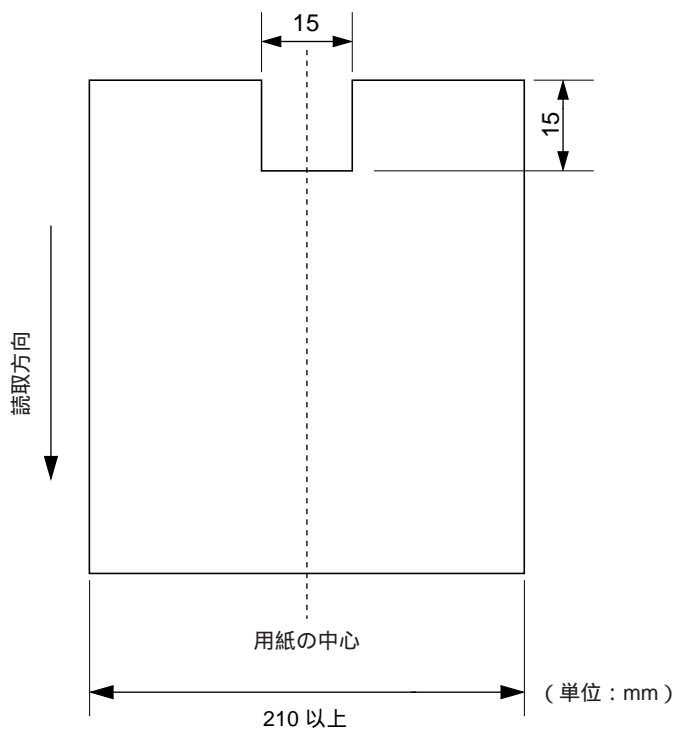


図4.5 用紙形状

## 用紙の種類

4-2ページの紙質および連量に同じとします。

ただし、用紙サイズは、A4以上（幅方向で210mm以上）とします。



# 5

## 仕様

---

この章では、設置仕様、外形寸法、消耗品、オプションについて説明します。

設置仕様

外形寸法

消耗品

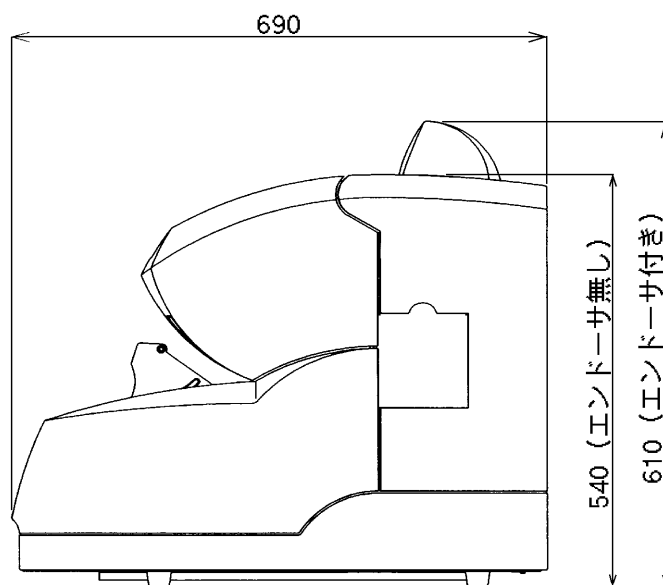
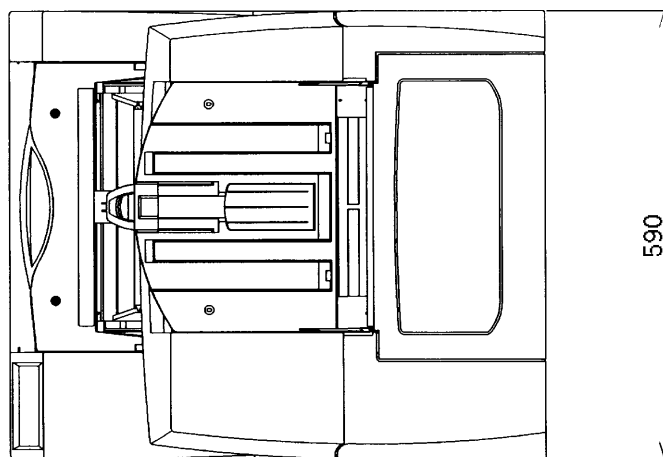
オプション

# 設置仕様

以下の表に、スキャナの設置仕様を示します。

項目		仕様		
寸法 (mm)		幅	奥行	高さ
		590	690	540 610 (エンドーサ付き)
重量 (kg)		65		
入力電源	電圧	100 ~ 240 VAC ±10 %		
	位相	単相		
	周波数	50/60 Hz + 2% -4%		
消費電力		250VA以下		
環境条件	装置ステータス	動作中	非動作中	
	温度	15 ~ 35°C	-20 ~ 60°C	
	湿度	20 ~ 80 %	8 ~ 95 %	

# 外形寸法



(単位: mm)



# 消耗品

以下の表に、本スキャナに使用される消耗品を示します。寿命前に、予め消耗品を準備されることをお勧めします。消耗品は定期的に変更する必要があります。本スキャナでは、消耗品カウンタを使用して、読取原稿の枚数をチェックすることができます（3-6,6-21ページを参照）。消耗品の交換方法につきましてはCD-ROM「リファレンスガイド」をご参照ください。

名称	商品番号 (仕様)	備考
ランプ	0961130 (CA04315-0430)	1,000H
パッドユニット	0961131 (CA04315-G730)	300,000枚または1年間。
ピックアップユニット	0961132 (CA04315-F711)	300,000枚または1年間。
ブレーキローラ	0961133 (CA04315-F705)	300,000枚または1年間。
プリントヘッド	0312120 (CA01023-0701)	エンドーサ用黒色インクカートリッジ。 寿命：2万枚（10字/枚）

## 注

- ・ 上記表中の数値は、あくまで目安であり、上記部品の交換周期は、読み取られる原稿の種類やスキャナの清掃の度合いにより、短くなる場合があります。
- ・ ノンカーボン紙など特殊な用紙を使うと交換周期が短くなります。この場合、部品によっては上記表示より早めに交換する必要があります。
- ・ 消耗品はサプライ用品として富士通コワーコより販売しております。ご購入につきましては本装置をお買い求めの販売店や担当営業にご相談ください。

# オプション

以下の表に、スキャナのオプションを示します。

名 称	仕 様	備 考
エンドーサ	CA04315-D201	インクジェット方式 ・裏面印刷 ・最大33文字

詳細については、富士通販売代理店にお問合せください。

# 6

## セットアップモード、ブラウズモード およびテストモード

---

この章では、スキャナのセットアップモード、ブラウズモードおよびテストモードについて説明します。

セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモード

セットアップモードまたはブラウズモードの起動

セットアップモードまたはブラウズモードの内容

テストモードの起動

テストモードの内容

# セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモード

本スキャナには、セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモードがあり、設定が容易にできるようになっています。

- ・セットアップモードは、スキャナをお客様の要件にあわせて設定するためのものです。
- ・ブラウズモードは、セットアップモードの設定状態を表示するためのものです。
- ・テストモードは、スキャナをオフラインでテストするためのものです。

これらのモードに入るには、以下の2つの方法があります。

・方法1

LCDが「ドウサカノウ」になっているときに **MENU** を押します。

セットアップモードとブラウズモードを使用することができます。モードを終了するには、**CANCEL** を押します。

・方法2

**MENU** を押しながら、電源を投入します。

セットアップモードとブラウズモードに加えて、テストモードを使用することができます。モードを終了するには、電源を切断します。

使用可能な機能はモードやモードに入る方法によって異なります。詳細については、各機能の説明を参照してください。

## ■ セットアップモードで使用できない機能

方 法	使用できない機能
「ドウサカノウ」状態で <b>MENU</b> を押します。	TP_TFツウシンソクド、SCSI ID、プロダクトID、ファンクショナルキー、セットアップモードロック

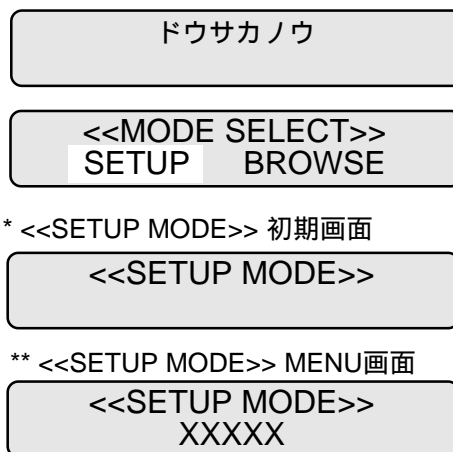
## ■ ブラウズモードで使用できない機能

使用できない機能
ヨウシアツミセッテイ

# セットアップモードまたはブラウズモードの起動

セットアップモードを起動するには、以下の手順に従います。





1. LCDが「ドウサカノウ」になっているときに  
**MENU**を押します。  
「SETUP」が点滅している<<MODE SELECT>>画面が表示されます。
2. **ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>初期画面（\*）が表示されます。
3. **ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>MENU画面（\*\*）が表示されま  
す。



ブラウズモードを起動するには、上記2項の前に  を押して「BROWSE」を点滅させてから、2項と3項を実行します。その後、<<BROWSE MODE>>画面が表示されます。

セットアップモードを終了するには、**CANCEL**を押します。

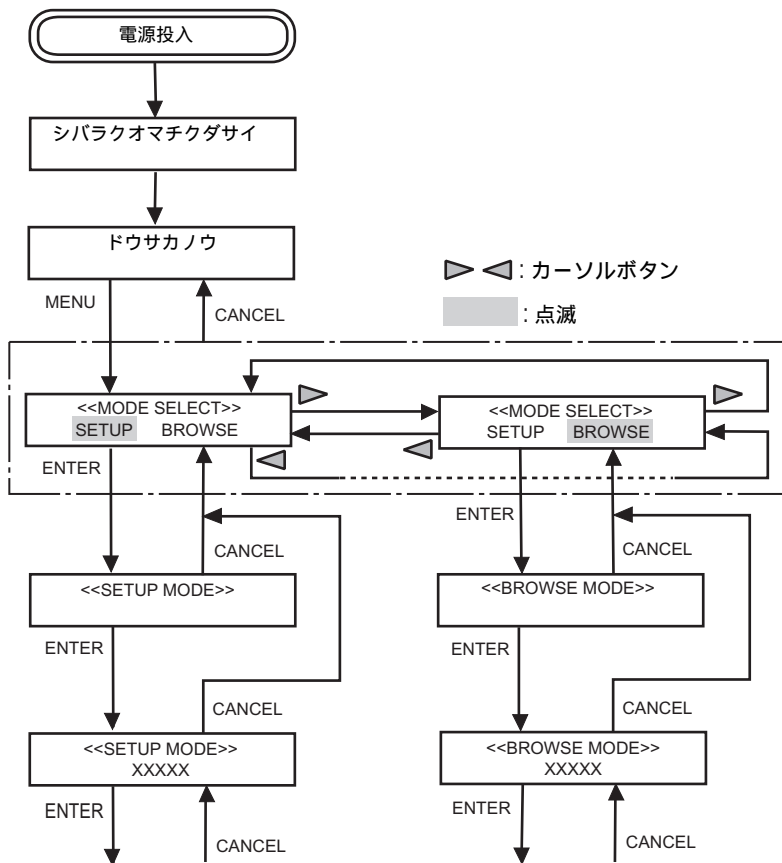
## ■ セットアップモードまたはブラウズモードのボタン機能

ボタン名	機能
<b>MENU</b>	変更を保存せずに<<SETUP MODE>>メニュー画面に戻ります（*）。
<b>ENTER</b>	変更を保存して前の画面に戻ります（*）。
<b>CANCEL</b>	変更を保存せずに前の画面に戻ります（*）。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メニューの右側の機能を表示します。</li> <li>・右側の項目に移動します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メニューの左側の機能を表示します。</li> <li>・左側の項目に移動します。</li> </ul>
	パラメータを変更します。
	パラメータを変更します。

\*ブラウズモードでは、「変更の保存」は選択できません。

## ■ モード選択（「ドウサカノウ」状態でMENUを押します）

ホストコンピュータを使わずにスキャナ上でユーザテストを実行できるようにする別のモード選択もあります。本章で後述する「テストモードの起動」を参照してください。



# セットアップモードまたはブラウズモードの内容

この節では、セットアップモードの内容について説明します。  
 セットアップモードは、35種類に分類されます。

セットアップ項目	説明	備考
ヨウシ ナガサ チェック	用紙長さエラーを検出する機能を有効または無効にします。	ホストコンピュータでセットした選択は変更不可です。
ダブルフィード チェック	用紙厚み検出機能を有効または無効にし、検出方法を設定します。	ホストコンピュータでセットした選択は変更不可です。
ヨウシ アツミ セッテイ	ダブルフィードエラーを検出するために、許容可能紙厚を設定します。	
スキュー チェック	斜行エラー検出を有効または無効にします。	
IPC-3 モード	画像処理オプションで設定するパターンを選択します。	ホストコンピュータでセットした選択を上書きします。
ホッパ タカサ	ホッパの初期位置をセットします。	
ヨウシブリードウサ	用紙分離力の設定をします。	
ドロップアウトカラー	ドロップアウトカラーを選択します。	ホストコンピュータでセットした選択は変更不可です。
ウアラテキリカエ	表面および裏面の裏当て切り換えを設定します。	ホストコンピュータでセットした選択は変更不可です。
ショウモウヒンカウンタ	消耗品アラームを発生する間隔（1万枚単位）をセットします。	
ショウモウヒンカウンタリセット	消耗品カウンタの累積値をリセットします。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
ショウモウヒンアラームドウサ	消耗品カウンタ設定値に到達したときのアラーム発生方法を設定します。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
ブザー	エラー発生時にブザー音を作動または非作動にします。	
オンリョウ	ブザーまたはクリック音の音量をセットします。	
LCDコントラスト	LCDのコントラストを設定します。	
ピックスピード	ピックアップローラの速度を選択します。	
*エンドーサ ショキセッテイ	エンドーサ印字処理を有効にするかどうか、および番号印字の初期値を設定します。	詳細および操作方法は M4099D/M4099DC/fi-4990/fi-4990C Image Scanner Endorser Operator's Guide:Optionを参照してください。
*エンドーサ リセット ハウハウ	エンドーサで印字する番号のリセットをホッパエンピティが発生する毎に行うかどうかを設定します。	
*エンドーサ リセット	エンドーサで印字する番号のリセットを行います。	
*インクカウンタ リセット	インクカウンタのリセットを行います。	

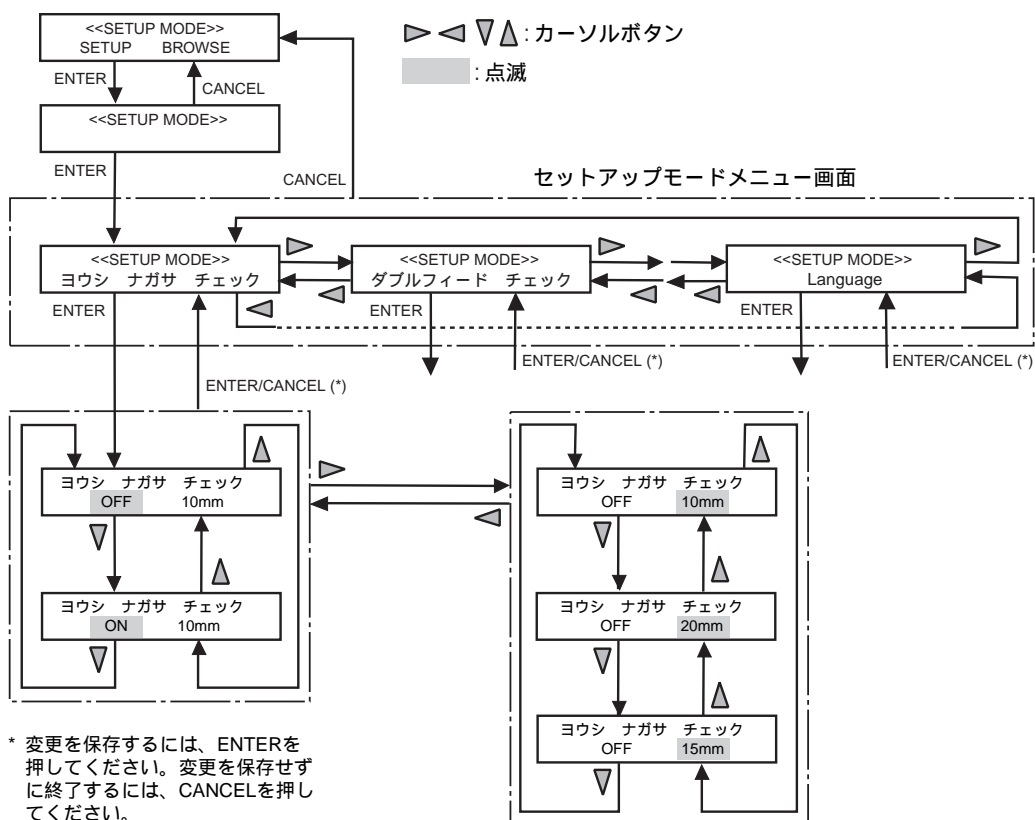
セットアップ項目	説明	備考
TP_IF ツウシン ソクド	TP インタフェースの制御データ転送レート (2400、4800、9600、19200) を選択します。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
SCSI ID	本スキャナの SCSI ID を設定します。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
プロダクトID	本スキャナの プロダクトID を設定します。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
プレピック	プレピックを有効または無効にします。	
ピック カイシジカン	用紙を手挿入してから繰り込み動作が開始するまでの時間を設定します。	
テソウニュー タイムアウト	ホストコンピュータが読取コマンドを発行してから用紙を手挿入するまでの待機時間を設定します。	
ピックリトライ	ピックモータ動作時間と再試行カウントを設定します。	
ハンソウリトライ	給紙モータ動作時間と再試行カウントを設定します。	
ファンクションキー	セットアップ機能を <b>F1</b> ボタン、 <b>F2</b> ボタン、 <b>F3</b> ボタンに割り当てます。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
セットアップ ドウサ	オペレータパネルがノーマルモードからセットアップモードになるのを禁止します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。</li> <li>・ この設定に関係無く、<b>F1</b> ボタン、<b>F2</b> ボタン、<b>F3</b> ボタンに割り当てられたセットアップ機能は常に有効です。</li> </ul>
*インジカイシイチ	エンドーサの印字開始位置を設定します。	詳細および操作方法は M4099D/M4099DC/fi-4990/fi-4990C Image Scanner Endorser Operator's Guide:Option を参照してください。
Language	オペレータパネル LCD 表示言語 (カタカナ、English) を選択します。	
シロツイジユウ モード	白基準取込み方法を設定します。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
インタフェースボード スロット	インタフェースボードのスロット設定を切り換えます。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
SCSI バス ハバ セッテイ	ホストコンピュータ側の SCSI ボードタイプにより装置側のインタフェースを設定します。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。

\* 対象オプションが未装着の場合、対象セットアップ項目を表示せず次の項目へスキップします。



## ■ セットアップモードでの画面の遷移

以下のフローチャートに、以降のページで説明するセットアップモードの画面の遷移を示します。








## ■ 用紙長さチェック

本機能は、用紙の長さの差異を設定し検出します。ホストコンピュータでセットした設定は、変更できません。

LCD表示	設定内容	備考
ヨウシ ナガサ チェック	ON、OFF（工場出荷状態：OFF） 10 mm、15 mm、20 mm （工場出荷状態：10 mm）	検出するかしないか 用紙長さの差異： XX mmは、用紙長の実際の差異がXX mmの範囲内ならばエラーとみなされないことを意味します。

以下に、本機能を設定するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ チェック）が表示されます。
2. **ENTER**を押します。  
OFFが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
3. またはを押します。  
表示が変わります（ONが点滅）。
4. を押します。  
現在の差異10 mmが点滅します（点滅は「変更可能」なことを示します）。
5. またはを押します。  
表示が変わります（15 mmまたは20 mm）。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

ヨウシ ナガサ チェック  
OFF 10 mm

ヨウシ ナガサ チェック  
ON 10 mm

ヨウシ ナガサ チェック  
ON 10 mm

ヨウシ ナガサ チェック  
ON 20 mm

6. 設定したい数値が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ チェック）に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

7. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ドウサカノウ

## ■ ダブルフィードチェック


本機能は、ダブルフィードエラーを検出するためにセットアップモードの用紙厚み設定機能で設定した紙厚を有効にするかどうかを設定します。ホストコンピュータでセットした設定は、変更できません。

LCD表示	設定内容	備考
ダブルフィード チェック	OFF、トウカリヨウ & ローラチェック、 トウカリヨウチェック (工場出荷状態: OFF)  ヨウシヒキコミ、ヨウシヒキコミ + ハンソウ (工場出荷状態: ヨウシヒキコミ)	OFF: ダブルフィードチェックを無効にします。 トウカリヨウ & ローラチェック: 原稿の透過量とブレーキローラの回転を チェックしダブルフィードを検出します。 トウカリヨウチェック: 原稿の透過量をチェックしダブルフィードを 検出します。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ チェック）が表示されます。

<<SETUP MODE>>

2. を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ダブルフィード チェック）が表示されます。

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック



<<SETUP MODE>>  
ダブルフィード チェック

3. **ENTER**を押します。  
「ダブルフィード チェック：モード」の点滅している画面が表示されます。

ダブルフィード チェック  
モード タイミング

4. **ENTER** を押します。  
OFFが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。


ダブルフィード チェック：モード  
OFF

5.  または  を押します。  
表示が変わります（トウカリヨウチェック、トウカリヨウ & ローラチェックが点滅）。

ダブルフィード チェック：モード  
トウカリヨウ & ローラチェック

6. 設定したい機能が表示されたら **ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが「ダブルフィード チェック：モード」の点滅している画面に戻ります。



ダブルフィード チェック  
モード タイミング

7.  を押します。  
「ダブルフィード チェック：タイミング」の点滅している画面が表示されます。

ダブルフィード チェック  
モード タイミング

8. **ENTER** を押します。  
ヨウシヒキコミが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。

ダブルフィード チェック  
ヨウシヒキコミ

9.  または  を押します。  
表示が変わります（ヨウシヒキコミ+ハンソウが点滅）。

ダブルフィード チェック：タイミング  
ヨウシヒキコミ+ハンソウ

10. **ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが「ダブルフィード チェック：タイミング」の点滅している画面に戻ります。

ダブルフィード チェック  
モード タイミング

11. **CANCEL** を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ドウサカノウ

## ■ 用紙厚み設定


本機能は、ダブルフィード検出の基準となる用紙の厚さを設定します。本機能の有効、無効の設定はセットアップモードのダブルフィードチェック機能で行います。



注

この設定はブラウザモードで表示しません。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>MENU画面（ヨウシ ナガサ チェック）が表示されます。
2. を2回押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ アツミ セッテイ）が表示されます。
3. **ENTER**を押します。  
設定用紙挿入を促す画面が表示されます。
4. 使用する最も厚い用紙を選択し、用紙をホッパにセットしてください。
5. **ENTER**を押します。  
「チョウセイチュウ！！」メッセージが表示されます。ホッパが上昇し、用紙を繰り込み、センサの感知レベルを調整後、その値を保存します。  
用紙排出後、「セッテイサレマシタ！！」メッセージが2秒間表示され、LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ アツミ セッテイ）に戻ります。  
調整中にエラー（たとえば、ピックアップミス）が発生した場合、用紙を取り出し、**CANCEL**を押します。用紙のセットを促す画面が再び表示されます。上記4項と5項を繰り返します。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ アツミ セッテイ

ヨウシ アツミ セッテイ  
チョウセイヨウシヲ セットシテクダサイ

ヨウシ アツミ セッテイ  
チョウセイチュウ！！

セッテイサレマシタ！！

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ アツミ セッテイ

6. **CANCEL** を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。




ドウサカノウ

## ■ 斜行チェック

本機能は、異常な斜行を検出するかどうかを設定します。ホストコンピュータでセットした設定は、変更できません。

LCD表示	設定内容	備考
スキュー チェック	ON、OFF (工場出荷状態: OFF)	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面(ヨウシ ナガサ チェック)が表示されます。
2. を3回押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面(スキュー チェック)が表示されます。
3. **ENTER**を押します。  
OFFが点滅している画面が表示されます(点滅は「変更可能」なことを示します)。
4. または を押します。  
表示が変わります(ONが点滅)。
5. **ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面(スキュー チェック)に戻ります。
6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
スキュー チェック

スキュー チェック  
ケンシュツ: OFF

スキュー チェック  
ケンシュツ: ON

<<SETUP MODE>>  
スキュー チェック




ドウサカノウ

## ■ IPC-3モード

本機能は、IPC-3画像処理機能で設定するパターンを選択します。

LCD表示	設定内容	備考
IPC-3 モード	0, 1, 2, 3, 4, 5 (工場出荷状態: 0)	0: パターンを選択しません 1~5: パターン番号1~5を選択します

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面 (ヨウシ ナガサ チェック) が表示されます。
2.  を4回押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面 (IPC-3 モード) が表示されます。
3. **ENTER**を押します。  
0が点滅している画面が表示されます (点滅は「変更可能」なことを示します)。
4.  または  を押します。  
表示が変わります (1、2、3、4、5)。
5. 設定したいパターン番号が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面 (IPC-3 モード) に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
IPC-3 モード

IPC-3 モード  
0

IPC-3 モード  
5

<<SETUP MODE>>  
IPC-3 モード





ファンクションキーから設定を行なう場合にはイニシャライズするかどうか聞いてきます。処理を保存する場合は(ENTER)を、処理を保存しない場合は(CANCEL)を押してください。

6. (CANCEL)を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ドウサカノウ

### 用紙の分類と対応表

2値（ラインアート）読取りにおいて、お客様が入力される用紙を分類すると、以下の表のとおりとなります。

- ・表の横軸は用紙内の文字 / 線に対する背景の濃さ、背景の色を示します。
- ・表の縦軸は用紙内の文字 / 線の濃さを示します。

		背景の濃さ		背景色		
		普通	濃	赤	緑	青
文字の濃さ	普通	1: 背景と文字が普通の濃さ	3: 濃い背景で文字が普通			
	淡	2: 背景が普通で淡い文字		4: 赤系の背景で淡い文字	5: 緑系の背景で淡い文字	

\*1～5はパターン番号。



本設定はグレースケールやカラー読取り時には無効となります。2値読取り時のみにおいて有効です。IPC-3モードをオンライン状態で実行すると、読取パラメータの有効または無効（ホスト設定は無効）は、次ページの表のとおりです。

## 読取パラメータの有効または無効

	読取パラメータ							
	読取形態	解像度	線画 / 写真	中間調	自動2値	ペーパーサイズ	縦 / 横	切り出し
有効			×	×	×			
無効	×	×				×	×	×

	読取パラメータ							
	原稿選択	rパターン	コントラスト	像域分離	反転	強調	輪郭抽出	簡易2値
有効		×	×	×		×	×	×
無効	×				×			

## ■ ホッパ高さ

本機能は、ホッパの初期高さを設定します。お客様がよくご使用になれるホッパ高さに設定してください。

LCD表示	設定内容	備考
ホッパ タカサ	250枚、500枚、1000枚 (工場出荷状態：1000枚)	


以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。

<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ チェック）が表示されます。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック


2. メニュー画面の下の行に「ホッパ タカサ」と表示されるまで、を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>  
ホッパ タカサ

3. **ENTER**を押します。

現在の高さ設定1000枚が点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。



ホッパ タカサ  
1000 マイ

4. を押します。

ホッパが500枚の位置に移動し、新しい高さ設定500枚が点滅します。

ホッパ タカサ  
500 マイ



または を押すたびに、ホッパは次の位置に移動し、その位置が自動的に保存されます。ホッパが希望の高さになるまで、この操作を繰り返します。

位置合せの最中にエラーが発生した場合、**CANCEL**を押します。LCDはホッパ高さ選択画面に戻ります。上記4項を繰り返します。

5. **CANCEL**を3回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ドウサカノウ

本設定の後では、ホッパは電源を投入するたびに新しい高さに設定されます。

## ■ 用紙分離力設定



本機能は、原稿繰り込み時に用紙に合った分離を行うためにブレーキローラ力を設定します。

LCD表示	設定内容	備考
ヨウシブンドウサ	アツイ、ヤヤアツイ、フツウ、ヤヤウスイ、 ウスイ（工場出荷状態: フツウ）	アツイ: 厚紙には強いブレーキ力 !（用紙の厚さによって変わります） ウスイ: 薄紙には弱いブレーキ力




以下のエラーが頻繁に発生する場合、表の説明に従って設定してください。

- ・ダブルフィード
- ・ピックミス
- ・カミツマリ1

以下の表に従って「用紙分離力」を設定します。

設定	用紙分離力動作	「ダブルフィード」が頻繁に発生する	「ピックミス」または「カミツマリ1」が頻繁に発生する
アツイ	強	 <p>用紙分離力をより強くします。</p>	 <p>用紙分離力をより弱くします。</p>
ヤヤアツイ	中強		
フツウ	中（工場設定値）		
ヤヤウスイ	中弱		
ウスイ	弱		

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ チェック）が表示されます。
2. メニュー画面の下の行に「ヨウシブンリドウサ」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
フツウが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4. またはを押します。  
表示が変わります（アツイ ウスイ）。
5. 設定したいブレーキ力が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシブンリドウサ）に戻ります。
6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
ヨウシブンリドウサ

ヨウシブンリドウサ  
フツウ

ヨウシブンリドウサ  
ヤヤウスイ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシブンリドウサ





ドウサカノウ

## ■ ドロップアウトカラー

本機能は、表面と裏面のドロップアウトカラーをそれぞれ設定します。ホストコンピュータでセットした設定は、変更できません。

LCD表示	設定内容	備 考
ドロップアウトカラー	オモテメン：ミドリ、アカ、アオ (工場出荷状態: ミドリ) ウラメン：ミドリ、アカ、アオ (工場出荷状態: ミドリ)	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER** を押し  
ます。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面 (ヨウシ ナガサ  
チェック) が表示されます。
2. メニュー画面の下の行に「ドロップアウトカラー」と  
表示されるまで、 を繰り返し押します。
3. **ENTER** を押し  
ます。  
「オモテメン：ミドリ」が点滅している画面が表示さ  
れます (点滅は「変更可能」なことを示します)。
4.  を押し  
ます。  
「ウラメン：ミドリ」が点滅します (点滅は「変更可  
能」なことを示します)。
5.  または  を押し  
ます。  
表示が変わります (アオまたはアカ)。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
ドロップアウトカラー

ドロップアウトカラー  
オモテメン:ミドリ ウラメン:ミドリ

ドロップアウトカラー  
オモテメン:ミドリ ウラメン:ミドリ

ドロップアウトカラー  
オモテメン:ミドリ ウラメン:アカ

6. 設定したい色が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ドロップアウトカラー）に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
ドロップアウトカラー

7. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。





ドウサカノウ

## ■ 裏当て切り換え設定

本機能は、原稿読取時の背景色を設定します。ホストコンピュータでセットした設定は、変更できません。

LCD表示	設定内容	備考
ウラアテ キリカエ	オモテメン：シロ、クロ（工場出荷状態：シロ） ウラメン：シロ、クロ（工場出荷状態：シロ）	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

- <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ チェック）が表示されます。
- メニュー画面の下の行に「ウラアテ キリカエ」と表示されるまで、を繰り返し押します。
- ENTER**を押します。  
「オモテ：シロ」が点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
- を押します。  
「ウラ：シロ」が点滅します（点滅は「変更可能」なことを示します）。
- またはを押します。  
表示が変わります（クロ）。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
ウラアテ キリカエ

ウラアテ キリカエ  
オモテ：シロ ウラ：シロ

ウラアテ キリカエ  
オモテ：シロ ウラ：シロ

ウラアテ キリカエ  
オモテ：シロ ウラ：クロ

6. **ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ウラアテ  
キリカエ）に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
ウラアテ キリカエ

7. **CANCEL** を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。


ドウサカノウ

## ■ 消耗品カウンタ

本機能は、消耗品の寿命を知らせるためのカウンタの値を表示したり、セットしたりします。用紙搬送枚数が設定値になると、アラームが動作します。ご使用の用紙の種類に従って、この値を変更してください。上質紙の場合、ピックアップユニット、プレーキローラ、パッドユニットの交換目安は30万枚搬送毎です。消耗品カウンタは0300000（30万枚）に設定されることをお勧めします。

LCD表示	設定内容	備考
ショウモウヒン カウンタ	10000から2560000枚 (工場出荷状態: 0300000枚)	この設定は、1万枚単位で変更できます。 下4桁のゼロは自動的に追加されます。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER** を押し  
ます。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ  
チェック）が表示されます。
2. メニュー画面の下の行に「ショウモウヒン カウン  
タ」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER** を押し  
ます。  
現在の値が点滅して、選択画面が表示されます（点滅  
は「変更可能」なことを示します）。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
ショウモウヒン カウンタ

ショウモウヒン カウンタ  
0300000 マイ



4. ▼または▲を押します。  
設定数値が変わります（1～256、設定数値は1万枚単位で変更できます）。▼または▲を押し続けると、数字の変化が速くなります。
5. 設定したい数値が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ショウモウヒン カウンタ）に戻ります。
6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ショウモウヒン カウンタ  
2560000 マイ

<<SETUP MODE>>  
ショウモウヒン カウンタ

ドウサカノウ

## ■ 消耗品カウンタリセット




本機能は、消耗品カウンタの累積値が設定値に到達する前に消耗品を交換したときに使用します。



ドウサカノウ状態のときに**MENU**を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備考
ショウモウヒンカウンタ リセット	YES、NO（工場出荷状態：NO）	YES：消耗品カウンタ値をリセットします。 NO：リセットを中止します。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ チェック）が表示されます。
2. メニュー画面の下の行に「ショウモウヒンカウンタ リセット」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
NOが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4. またはを押します。  
表示が変わります（YESが点滅）。
5. **ENTER**を押して消耗品カウンタをリセットします。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ショウモウヒンカウンタ リセット）に戻ります。
6. <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断します。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
ショウモウヒンカウンタ リセット

リセット ショウモウヒンカウンタ  
NO 00250000

リセット ショウモウヒンカウンタ  
YES 00250000

リセットサレマシタ！！

<<SETUP MODE>>  
ショウモウヒンカウンタ リセット

## ■ 消耗品アラーム動作


本機能は、消耗品カウンタ設定値に累積値が到達したときのアラーム発生方法を設定します。



ドウスカノウ状態のときに **MENU** を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備 考
ショウモウヒンアラーム ドウサ	アラームヒョウジ & テイシ ケイコクヒョウジ (工場出荷状態: アラームヒョウジ & テイシ)	アラームヒョウジ & テイシ: 消耗品カウンタ 設定値に累積値が到達したとき、アラーム 表示を行い読取り動作を停止します。 ケイコクヒョウジ: 消耗品カウンタ設定値に累 積値が到達したとき、アラーム表示を行いま す(読取り動作は続けます)。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER** を押し  
ます。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面(ヨウシ ナガサ  
チェック)が表示されます。
2. メニュー画面の下の行に「ショウモウヒンアラーム  
ドウサ」と表示されるまで、 を繰り返し押し  
ます。
3. **ENTER** を押し  
ます。  
アラームヒョウジ & テイシが点滅している画面が表  
示されます(点滅は「変更可能」なことを示しま  
す)。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
ショウモウヒンアラーム ドウサ

ショウモウヒンアラーム ドウサ  
アラームヒョウジ & テイシ

- ▼ または ▲ を押します。  
表示が変わります（ケイコクヒョウジが点滅）。
- ENTER を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ショウモウ  
ヒンアラーム ドウサ）に戻ります。
- <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断しま  
す。

ショウモウヒンアラーム ドウサ  
ケイコクヒョウジ

<<SETUP MODE>>  
ショウモウヒンアラーム ドウサ

## ■ ブザー

本機能は、エラーが発生したときのブザー音を有効にしたり、無効にしたりします。



オペレータパネルボタンを押したときは、この設定に関係無くブザー音が鳴ります。




LCD表示	設定内容	備 考
ブザー	ON、OFF（工場出荷状態: OFF）	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

- <<SETUP MODE>>初期画面で、ENTER を押し  
ます。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ  
チェック）が表示されます。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

2. メニュー画面の下の行に「ブザー」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
OFFが点滅して、選択画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4. またはを押します。  
表示が変わります（ONが点滅）。
5. **ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ブザー）に戻ります。
6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
ブザー

ブザー  
OFF

ブザー  
ON

<<SETUP MODE>>  
ブザー

ドウサカノウ

## ■ ブザー音量

本機能は、ブザーの音量を7段階で設定します。



この設定は、エラーが発生したときと、オペレータパネルボタンを押したときのどちらの場合にも有効です。

LCD表示	設定内容	備考
オンリヨウ	! (工場出荷状態: )	最小 ! (7段階) 最大

\* 音量の記号は、LCDで使用されている実際の記号と異なることがあります。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面(ヨウシ ナガサ チェック)が表示されます。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

2. メニュー画面の下の方に「オンリヨウ」と表示されるまで、を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>  
オンリヨウ

3. **ENTER**を押します。  
現在の設定 が表示されている画面が表示されます(点滅していませんが、変更可能です)。

オンリヨウ  
シヨウ ダイ

4. または を押します。  
表示状態が変わります( から 、または )

オンリヨウ  
シヨウ ダイ

5. 設定したい音量が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（オンリョウ）に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
オンリョウ

6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ドウサカノウ



## ■ LCDコントラスト

本機能は、オペレータパネル上のLCDのコントラストを7段階で設定します。

LCD表示	設定内容	備考
LCDコントラスト	⏏ (工場出荷状態: )	暗(低コントラスト) ⏏ (7段階) 明(高コントラスト)

\* 高低量の記号は、LCDで使用されている実際の記号と異なることがあります。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。



1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ チェック）が表示されます。
2. メニュー画面の下の行に「LCDコントラスト」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
現在の設定 が表示されている画面が表示されます（点滅していませんが、変更可能です）。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
LCDコントラスト

LCDコントラスト  
クライ アカルイ

4.  または  を押します。  
表示状態が変わります（ から  
、または ）。

LCDコントラスト  
クライ アカルイ

5. 設定したいコントラストが表示されたら、**ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（LCDコントラスト）に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
LCDコントラスト

6. **CANCEL** を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ドウサカノウ

## ■ ピックスピード

本機能は、ピックアップローラの回転速度を設定します。ピックアップを起しやすい薄い用紙または柔らかい用紙を使用するときには、低速での使用をお勧めします。

LCD表示	設定内容	備考
ピックスピード	オソイ、フツウ、ハヤイ（工場出荷状態: ハヤイ）	



注




ピックスピードを「フツウ」、「オソイ」にセットすると、読取処理速度が遅くなります。

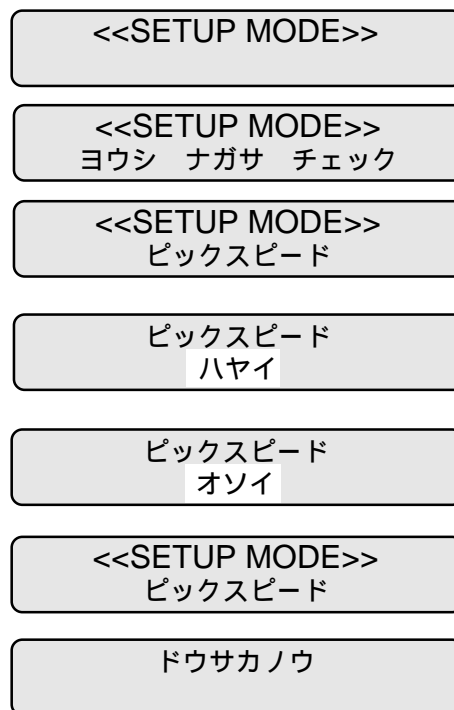
以下の表に従って「ピックスピード」を設定します。

ピックスピード	「ピックアップミス」が頻繁に発生する
ハヤイ（工場出荷状態）	↓ ピックスピードを遅くします
フツウ	
オソイ	



以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ チェック）が表示されます。
2. メニュー画面の下の行に「ピックスピード」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
現在の設定ハヤイが点滅して、選択画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4. またはを押します。  
表示が変わります（ハヤイ オソイ）。
5. 設定したい速度が表示されたら**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ピックスピード）に戻ります。
6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。



## ■ TP\_IF通信速度

本機能は、サードパーティインタフェース（TP\_IF）の通信速度に従って通信速度を設定します。TP\_IFボードの設定条件に合わせて、通信速度を設定してください。本装置では9600に設定されることを推奨いたします。






注

ドウサカノウ状態のときに**MENU**を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備考
TP_IF ツウシン ソクド	2400、4800、9600、19200（工場出荷状態: 9600）	単位: ボー

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ チェック）が表示されます。
2. メニュー画面の下の行に「TP-IF ツウシン ソクド」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
現在の設定9600が点滅して、選択画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4. またはを押します。  
表示が変わります（19200、2400、4800）。
5. 設定したい速度が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（TP-IF ツウシン ソクド）に戻ります。
6. <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断します。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
TP-IF ツウシン ソクド

TP-IF ツウシン ソクド  
9600

TP-IF ツウシン ソクド  
19200

<<SETUP MODE>>  
TP-IF ツウシン ソクド

## ■ SCSI ID

本機能は、SCSIインタフェースのID番号を設定します。






注

ドウサカノウ状態のときに **MENU** を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備考
SCSI ID	0~7 (工場出荷状態: 5)	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER** を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面 (ヨウシ ナガサ チェック) が表示されます。
2. メニュー画面の下の行に「SCSI ID」と表示されるまで、 を繰り返し押します。
3. **ENTER** を押します。  
現在の設定5が点滅して、選択画面が表示されます (点滅は「変更可能」なことを示します)。
4.  または  を押します。  
数値表示が変わります (6、7、0、1、2、3、4)。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
SCSI ID

SCSI ID  
5

SCSI ID  
3

5. 設定したい数値が表示されたら、**ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（SCSI ID）に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
SCSI ID

6. <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断します。

## ■ プロダクトID

本機能はスキャナのプロダクトIDを設定します。通常、この設定を変更する必要はありません。



注

ドウサカノウ状態のときに**MENU**を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。


LCD表示	設定内容	備 考
プロダクトID	Fi-4990C、M3099G、M4099DC (工場出荷状態: Fi-4990C)	本スキャナの型式番号

以下に、スキャナの製品IDを変更するときの操作例を示します。



1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER** を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ チェック）が表示されます。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

2. メニュー画面の下の行に「プロダクトID」と表示されるまで、を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>  
プロダクトID

3. **ENTER** を押します。  
現在の設定Fi-4990Cが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4.  または  を押します。  
表示が変わります（M3099G、M4099DCが点滅）。
5. 設定したいプロダクトIDが表示されたら **ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（プロダクトID）に戻ります。
6. <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断します。

プロダクトID  
Fi-4990C

プロダクトID  
M3099G

<<SETUP MODE>>  
プロダクトID

## ■ プレピック

本機能は、用紙のプレピックを有効にしたり、無効にしたりします。


LCD表示	設定内容	備考
プレピック	ON、OFF（工場出荷状態: ON）	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER** を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ チェック）が表示されます。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

2. メニュー画面の下の行に「プレピック」と表示されるまで、を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>  
プレピック

3. **ENTER**を押します。  
現在の設定ONが点滅して、選択画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。

プレピック  
ON

4. またはを押します。  
表示が変わります（OFFが点滅）。

プレピック  
OFF

5. **ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（プレピック）に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
プレピック

6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。




ドウサカノウ

## ■ ピック開始時間

本機能は、用紙をホッパに手挿入してからピック動作が開始するまでの時間を設定します。

LCD表示	設定内容	備考
ピック カイシジカン	00.2 S ~ 29.8 S (工場出荷状態: 01.0 S)	0.2秒単位

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面(ヨウシ ナガサ チェック)が表示されます。
2. メニュー画面の下の行に「ピック カイシジカン」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
現在の設定01.0 Sが点滅して、選択画面が表示されます(点滅は「変更可能」なことを示します)。
4. またはを押します。  
数値表示が変わります(00.2 S ~ 29.8 S)。値は0.2秒単位に変わります。
5. 設定したい数値が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面(ピック カイシジカン)に戻ります。
6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
ピック カイシジカン

ピック カイシジカン  
01.0 S

ピック カイシジカン  
05.0 S

<<SETUP MODE>>  
ピック カイシジカン




ドウサカノウ

## ■ 手挿入タイムアウト

本機能は、ホストコンピュータが読取コマンドを発進してから用紙をホッパに手挿入するまでの待機時間をセットします。用紙をホッパに挿入しないうちにこの時間が経過すると、手挿入タイムアウトエラーが発生します。

LCD表示	設定内容	備考
テソウニュー タイムアウト	1 S ~ 255 S (工場出荷状態: 30 S)	単位: 秒

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面(ヨウシ ナガサ チェック)が表示されます。
2. メニュー画面の下の行に「テソウニュー タイムアウト」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
現在の設定30 Sが点滅している待機時間選択画面が表示されます(点滅は「変更可能」なことを示します)。
4. またはを押します。  
数値表示が変わります(1 S ~ 254 S)。値は秒単位で変わります。
5. 設定したい数値が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面(テソウニュー タイムアウト)に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
テソウニュー タイムアウト

テソウニュー タイムアウト  
30 S

テソウニュー タイムアウト  
10 S

<<SETUP MODE>>  
テソウニュー タイムアウト



6. **CANCEL** を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。



ドウサカノウ

## ■ 用紙ピック再試行

本機能は、ピックモータ動作時間と再試行回数を設定します。

LCD表示	設定内容	備考
ピックリトライ	ステップ: 1~7 (工場出荷状態: 2)	1~7: 標準ステップの1~7倍
	カイスウ: 1~7 (工場出荷状態: 4)	1~7: 再試行1~7回

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

- <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER** を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面 (ヨウシ ナガサ チェック) が表示されます。
- メニュー画面の下の行に「ピックリトライ」と表示されるまで、 を繰り返し押します。
- ENTER** を押します。  
現在の設定2 (ステップ用) が点滅して、選択画面が表示されます (点滅は「変更可能」なことを示します)。
-  を押します。  
現在の回数設定4が点滅します。



<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
ピックリトライ

ピックリトライ  
ステップ: 2 カイスウ: 4

ピックリトライ  
ステップ: 2 カイスウ: 4

5.  または  を押します。  
表示が変わります (1、2、3、4、5、6、7)。
6. 設定したい数値が表示されたら、**ENTER** を押して  
変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面 (ピックリトライ)  
に戻ります。
7. **CANCEL** を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ピックリトライ  
ステップ: 2    カイスウ: 7

<<SETUP MODE>>  
ピックリトライ

ドウサカノウ

## ■ 搬送再試行

本機能は、給紙モータ動作時間と再試行回数を設定します。


LCD表示	設定内容	備 考
ハンソウリトライ	ステップ: 1~7 (工場出荷状態: 1)	1~7: 標準ステップの1~7倍
	カイスウ: 1~7 (工場出荷状態: 4)	1~7: 再試行1~7回

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面 (ヨウシ ナガサ チェック) が表示されます。

<<SETUP MODE>>


<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

2. メニュー画面の下の行に「ハンソウリトライ」と表示されるまで、を繰り返し押します。



<<SETUP MODE>>  
ハンソウリトライ

3. **ENTER**を押します。  
現在の設定1 (ステップ用) が点滅している画面が表示されます (点滅は「変更可能」なことを示します)。

ハンソウリトライ  
ステップ: 1 カイスウ: 4

4. を押します。  
現在の回数設定4が点滅します。

ハンソウリトライ  
ステップ: 1 カイスウ: 4

5.  または  を押します。  
表示が変わります (1、2、3、4、5、6、7)。
6. 設定したい数値が表示されたら、**ENTER** を押して  
変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面 (ハンソウリ  
トライ) に戻ります。
7. **CANCEL** を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ハンソウリトライ  
ステップ: 1    カイスウ: 7

<<SETUP MODE>>  
ハンソウリトライ

ドウサカノウ

## ■ ファンクションキー

本機能は、セットアップ機能を **F1** ボタン、**F2** ボタン、**F3** ボタンに割り当てます。最高三つのセットアップ機能を割り当てることができます。



- ・ドウスカノウ状態のときに **MENU** を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。
- ・以下の機能を割り当ててはできません。TP\_IF通信速度、SCSI ID、プロダクトID、セットアップ動作（ロック）、およびファンクションキー自身。

割り当て可能なセットアップ機能とその他の特殊機能	備考
前述のセットアップ機能 STARTキー EJECTキー (工場出荷状態: 未定義)	START: EJECTで停止された動作を開始し、データをホストコンピュータに送信します。 EJECT: 動作を停止し、搬送ユニットの用紙を排出します。


**F1** ボタン、**F2** ボタン、**F3** ボタンはショートカットキーとして使用することができます。このショートカットキーは、スキヤナがドウスカノウ状態でボタンを押すだけで、割り当て機能を簡単に呼び出すことができます。セットアップモードがロック状態（次の機能を参照）でもこの機能は有効です。しかし、**F1** ボタン、**F2** ボタン、**F3** ボタンは、セットアップモード、ブラウザモードおよびテストモードでは無効です。

以下に、STARTキーとEJECTキーを **F1** ボタン、**F2** ボタンにそれぞれ割り当てるときの操作例を示します。






1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER** を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ チェック）が表示されます。

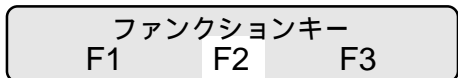
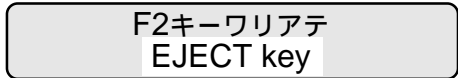
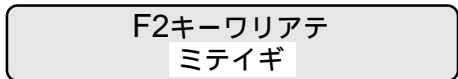
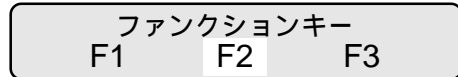
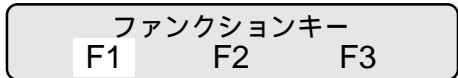
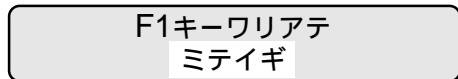
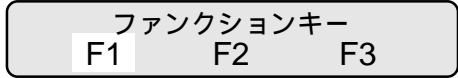
<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

2. メニュー画面の下の行に「ファンクションキー」と表示されるまで、 を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>  
ファンクションキー

3. **ENTER** を押します。  
F1が点滅しているファンクションキー選択画面が表示されます(点滅は「変更可能」なことを示します)。
4. **ENTER** を押します。  
ミテイギが点滅しているF1選択画面が表示されます(点滅は「変更可能」なことを示します)。
5.  または  を押します。  
下の行にセットアップ機能、START key、EJECT keyが表示されます。
6. STARTキーが表示されたら、**ENTER** を押します。  
LCDはF1が点滅しているファンクションキー選択画面に戻ります。
7.  を1回押します。  
F2が点滅します。
8. **ENTER** を押します。  
ミテイギが点滅しているF2選択画面が表示されます(点滅は「変更可能」なことを示します)。
9.  または  を押します。  
下の行にセットアップ機能、START key、EJECT keyが表示されます。
10. EJECT keyが表示されたら、**ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDはF2が点滅しているファンクションキー選択画面に戻ります。
11. <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断します。



## ■ セットアップモードロック

本機能は、オペレータパネルの誤動作を防ぐためにノーマルモードからセットアップモードへ入ることを禁止します。いったんオペレータパネルをロックすると、**F1** ボタン、**F2** ボタン、**F3** ボタンに割り当てられた項目以外のセットアップ項目を使用することはできなくなります。



ドウスカノウ状態のときに**MENU**を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備考
セットアップ ドウサ	ON、OFF (工場出荷状態: OFF)	


セットアップモードのロック状態をキャンセルするには、電源を切断し、**MENU** ボタンを押しながら電源を投入してセットアップモードに入ります。セットアップモードで、セットアップドウサを選択し、OFFに設定します。

以下に、オペレータパネルをロックするときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面 (ヨウシ ナガサ チェック) が表示されます。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

2. メニュー画面の下の行に「セットアップ ドウサ」と表示されるまで、を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>  
セットアップ ドウサ

3. **ENTER**を押します。  
現在の設定OFFが点滅している画面が表示されます (点滅は「変更可能」なことを示します)。

セットアップ ドウサ キンシ  
OFF

- ▼ または ▲ を押します。  
表示が変わります (ONが点滅)。
- ENTER を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面 (セットアップ ドウサ) に戻ります。
- <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断します。

セットアップ ドウサ キンシ  
ON

<<SETUP MODE>>  
セットアップ ドウサ

## ■ LCD表示言語切り換え

本機能は、LCD表示言語を英語または日本語に設定します。

LCD表示	設定内容	備 考
Language	English、カタカナ (工場出荷状態: カタカナ)	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

- <<SETUP MODE>>初期画面で、ENTER を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面 (ヨウシ ナガサ チェック) が表示されます。
- メニュー画面の下の行に「Language」と表示されるまで、▶ を繰り返し押します。
- ENTER を押します。  
カタカナが点滅している画面が表示されます (点滅は「変更可能」なことを示します)。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
Language

Language  
カタカナ



- ▼ または ▲ を押します。  
表示が変わります ( English が点滅 )。
- ENTER を押して変更を保存します。  
LCD が <<SETUP MODE>> メニュー画面 ( Language ) に戻ります。
- CANCEL を 2 回押します。  
LCD が ドウサカノウ 画面に戻ります。

Language  
English

<<SETUP MODE>>  
Language

ドウサカノウ

## ■ 白追従モード

本機能は、原稿を読取るときの白基準取込み方法を設定します。  
原稿の下地全体に色が付いている場合に「1」を設定すると、原稿の先端を白基準として取込むため、スキャナで読み取った下地色は白となります。



注

- 「1」を設定する場合、原稿の先端から3 mmは同一色である必要があります。
- ドウサカノウ状態のときに MENU を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。


LCD表示	設定内容	備考
シロツイジュウ モード	1、0 (工場出荷状態: 0)	0: スキャナ内部の白基準板を白基準とします。 1: 原稿の先端を白基準とします。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

- <<SETUP MODE>>初期画面で、ENTER を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面 ( ヨウシ ナガサ チェック ) が表示されます。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

2. メニュー画面の下の行に「シロツイジユウ モード」と表示されるまで、を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>  
シロツイジユウ モード

3. **ENTER**を押します。  
0 が点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。

シロツイジユウ モード  
0

4. またはを押します。  
表示が変わります（1 が点滅）。

シロツイジユウ モード  
1

5. **ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（シロツイジユウ モード）に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
シロツイジユウ モード

6. <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断します。

## ■ インタフェースボードスロット

本機能は、インタフェースボードを2枚実装して、そのうちの1枚をアクティブにする場合に使用します。




ドウサカノウ状態のときに**MENU**を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備考
インタフェースボードスロット	ジドウ スロット1、スロット2 (工場出荷状態:ジドウ)	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ  
チェック）が表示されます。

<<SETUP MODE>>



2. メニュー画面の下の行に「インタフェースボードスロ  
ット」と表示されるまで、を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

3. **ENTER**を押します。  
ジドウが点滅している画面が表示されます（点滅は  
「変更可能」なことを示します）。

<<SETUP MODE>>  
インタフェースボードスロット

インタフェースボードスロット  
ジドウ

4. または を押します。  
表示が変わります（ジドウ、スロット1、スロット2）。

インタフェースボードスロット  
スロット1

5. 設定したいスロットが表示されたら、**ENTER**を押  
して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（インタ  
フェースボードスロット）に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
インタフェースボードスロット

6. <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断します。

## ■ SCSIバス幅設定

本機能は、ホストコンピュータ側のSCSIボードのタイプにより装置側のインタフェースを設定します。ワイドSCSIの場合「16ビット」（工場出荷時設定）、ナローSCSIの場合「8ビット」を設定してください。






注

16ビット幅データ転送を禁止している場合は、本機能を「8ビット」に設定してください。ドウスアカノウ状態のときに **MENU** を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備 考
SCSIバス ハバ セッテイ	16ビット、8ビット（工場出荷状態: 16ビット）	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER** を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサ チェック）が表示されます。
2. メニュー画面の下の行に「SCSIバス ハバ セッテイ」と表示されるまで、 を繰り返し押します。
3. **ENTER** を押します。  
16ビットが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4.  または  を押します。  
表示が変わります（8ビット）。
5. **ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（SCSIバス ハバ セッテイ）に戻ります。
6. <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断します。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサ チェック

<<SETUP MODE>>  
SCSIバス ハバ セッテイ


SCSIバス ハバ セッテイ  
16ビット

SCSIバス ハバ セッテイ  
8ビット

<<SETUP MODE>>  
SCSIバス ハバ セッテイ

# テストモードの起動

テストモードを起動するには、以下の手順に従います。

1. **MENU** を押しながら電源を投入します。  
LCDに「シバラクオマチクダサイ」と表示され、次に、「SETUP」が点滅している<<MODE SELECT>>画面が表示されます。
2.  を2回押します。  
「TEST」が点滅します（点滅は「選択可能」なことを示します）。
3. **ENTER** を押します。  
<<TEST MODE>>初期画面（\*）が表示されます。
4. **ENTER** を押します。  
<<TEST MODE>>メニュー画面（\*\*）が表示されません。

テストモードを終了するには、電源を切断します。

T シバラクオマチクダサイ

<<MODE SELECT>>  
SETUP BROWSE TEST

<<MODE SELECT>>  
SETUP BROWSE TEST





\* <<TEST MODE>> 初期画面

<<TEST MODE>>

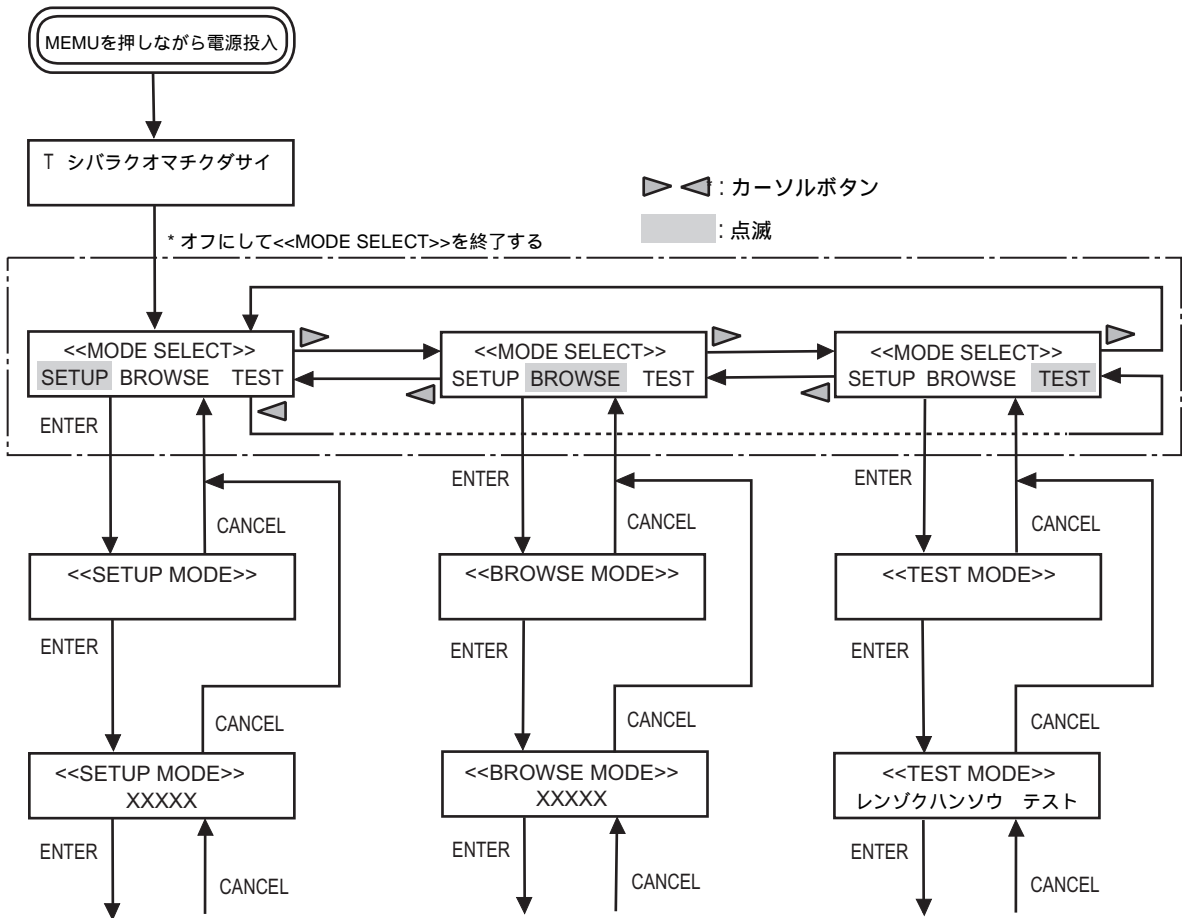
\*\* <<TEST MODE>> メニュー画面

<<TEST MODE>>  
レンゾクハンソウテスト

## ■ テストモードのボタン機能

ボタン名	機能
<b>MENU</b>	<<TEST MODE>>メニュー画面に戻ります。
<b>ENTER</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストを実行します。</li> <li>・前の画面に戻ります。</li> <li>・下位レベルがある場合には、次の下位レベルの画面を表示します。</li> </ul>
<b>CANCEL</b>	変更を保存せずに前の画面に戻ります。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メニューの右側の機能を表示します。</li> <li>・右側の項目に移動します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メニューの左側の機能を表示します。</li> <li>・左側の項目に移動します。</li> </ul>
	数値などの表示を下にスクロールします。
	数値などの表示を上スクロールします。

## ■ モード選択 (MENUを押しながら電源投入)



## テストモードの内容

テストモードには、以下の表に示すユーザテスト機能があります。この節では、お客様に必要な「レンゾクハンソウ テスト」と「オプション ヒョウジ」と「ルイケイ ヒョウジ」について説明します。



注

「レンゾクハンソウ テスト」、「オプション ヒョウジ」、「ルイケイ ヒョウジ」以外のユーザテスト機能を使用する必要がある場合、代理店にお問合せください。

ユーザテスト機能は以下のとおりです。

テスト項目	説明
レンゾクハンソウ テスト	用紙搬送状態を確認するために用紙を連続的に読み取ります。また、読取パラメータの設定を変更します。
*インジ テスト	エンドーサの印字を確認します。(オプション装着時)
オプション ヒョウジ	装置に実装されているオプションを表示します。
ルイケイ ヒョウジ	スキャナ設置後の給紙累計枚数とランプ点灯累計時間数を表示します。
センサ ジドウチョウセイ	センサを自動調整します。
オフセットチョウセイ	調整用紙を使用してオフセットを調整します。
ソウサパネルテスト	オペレータパネルをチェックするためのLCD、LED、ボタンのテスト機能です。
ハンソウ ヒョウジ	プログラムEEPROM、VDC-C、インタフェースファームウェアの版数を表示します。
センサジョウタイ ヒョウジ	センサの状態を表示します。
センサ チョウセイ	センサの電流とスライスレベルを変更し、センサを調整します。
ホワイトバランスホセイ	白紙を読み取ってそれぞれR.G.Bのアンブゲイン値を調整します。
+5V デンアツ チェック	+5Vの電圧を表示します。
EEPROMエディット	EEPROM (NO. 00-FF) に任意データを書き込み、設定値を確認または変更します。



\* 対象オプションが未装着の場合、対象テストを表示せずに次の項目へスキップします。

## ■ 連続搬送テスト

本機能は、ホストコンピュータなしで機構の動作全体をチェックするために用紙を連続的に読み取ります。セットアップモードの設定機能を使用して、原稿を読み取るための読取パラメータ（読取モード、用紙サイズ/方向、濃度、解像度、中間調処理）を変更することができます。

LCD表示	テスト項目	備考
レンゾクハンソウ テスト	STARTおよびSETUP	START: テストを開始します。 SETUP: 読取パラメータの設定を変更します。

以下に、連続搬送テストを開始するときの操作例を示します。

1. 用紙をホッパテーブルに置きます。
2. <<TEST MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<TEST MODE>>メニュー画面（レンゾクハンソウテスト）が表示されます。
3. 再び**ENTER**を押します。  
STARTが点滅している現在の読取パラメータリスト画面が表示されます（点滅は「選択可能」なことを示します）。
4. を押します。  
SETUPが点滅します（点滅は「選択可能」なことを示します）。
5. **ENTER**を押します。  
LCDがS（片面モード）が点滅している画面に変わります（点滅は「選択可能」なことを示します）。
6. を押します。  
A4タテ（ポートレート方向でA4サイズ）が点滅します（点滅は「選択可能」なことを示します）。

<<TEST MODE>>

<<TEST MODE>>  
レンゾクハンソウ テスト

S A4タテ III]] 200 LA  
START SETUP

S A4タテ III]] 200 LA  
START SETUP



S A4タテ III]] 200 LA  
III]] LA

S A4タテ III]] 200 LA  
III]] LA



7. **ENTER** を押します。  
A4タテが点滅しているヨウシサイズ画面が表示されます（点滅は「選択可能」なことを示します）。

ヨウシサイズ  
A4 タテ

8.  または  を押します。  
表示が変わります（レタータテ、B5タテ、A5タテ、A4ヨコなど）。


ヨウシサイズ  
レター タテ

9. 必要なサイズが表示されたら、**ENTER** を押して変更を保存します。  
新しいパラメータが点滅している画面が表示されます。

S LTタテ III]] 200 LA  
III]] LA

10. **CANCEL** を押します。  
新しいパラメータがSETUPで置き換わりSETUPが点滅している、現在の読取パラメータリスト画面が表示されます（点滅は「選択可能」なことを示します）。

S LTタテ III]] 200 LA  
START SETUP

11.  を押します。  
STARTが点滅します（点滅は「選択可能」なことを示します）。

S LTタテ III]] 200 LA  
START SETUP

12. **ENTER** を押します。  
スキヤナは、エラー（通常、「ホッパエンブティ」）を検出するまで原稿を連続的に繰り込んで読み取ります。繰り込み中には、上の行には「レンゾクハンソウチュウ!!」と表示され、下の行には繰り込み枚数が表示されます。

レンゾクハンソウチュウ!!  
12345678 1234

- ・ テストを中断するには、**CANCEL** を押します。
- ・ テストを再開するには、**ENTER** を押します。
- ・ ホッパエンブティ状態から再開するには、用紙をホッパテーブルに置き、**CANCEL** を押します。
- ・ レンゾクハンソウテストを終了するには、中断状態で**CANCEL** を押します。

13. <<TEST MODE>>を終了するには、電源を切断します。

## ■ オプション表示

本機能は、スキャナに搭載されているオプションを表示します。

LCD表示	表示内容	備 考
オプション ヒョウジ	エンドーサ、ウラアテキコウ	エンドーサ: 原稿裏面印字プリンタ。


\* オプションを搭載していると、オプションの下にアリが表示されます。オプションを搭載していないと、オプションの下にナシが表示されます。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<TEST MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<TEST MODE>>メニュー画面（レンゾクハンソウテスト）が表示されます。

<<TEST MODE>>

<<TEST MODE>>  
レンゾクハンソウ テスト

2. を押します。  
<<TEST MODE>>メニュー画面（オプション ヒョウジ）が表示されます。

<<TEST MODE>>  
オプション ヒョウジ

3. **ENTER**を押します。  
現在のオプションリスト画面が表示されます。搭載されているオプションをチェックすることができます。

エンドーサ      ウラアテキコウ  
ナシ              F:アリ B:アリ

4. <<TEST MODE>>を終了するには、電源を切断します。


## ■ 累計表示

本機能は、スキャナ設置後の用紙搬送累計枚数とランプ点灯累計時間数を表示します。

LCD表示	表示内容	備考
ルイケイ ヒョウジ	COUNT、LAMP F、LAMP B	COUNT: 給紙累計枚数。 LAMP F: 表面ランプの累計動作時間数。 LAMP B: 裏面ランプの累計動作時間数。

\* 各値の単位はLCDには表示されません。

以下に、累計をチェックするときの操作例を示します。

1. <<TEST MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<TEST MODE>>メニュー画面（レンゾクハンソウテスト）が表示されます。
2. を2回押します。  
<<TEST MODE>>メニュー画面（ルイケイ ヒョウジ）が表示されます。
3. **ENTER**を押します。  
現在の値表示画面が表示されます。累計をチェックすることができます。
4. <<TEST MODE>>を終了するには、電源を切断します。

<<TEST MODE>>

<<TEST MODE>>  
レンゾクハンソウ テスト

<<TEST MODE>>  
ルイケイ ヒョウジ

COUNT LAMP F: 1234567  
12345678 B: 1234567

# 索引

## あ行

- IPC-3の設定 6-13
- 安全上のご注意 iv
- 一時的なエラー 1-7
- 印字開始位置 6-5
- インタフェース
  - ケーブルの接続 2-7
  - コネクタ 1-3
  - インタフェースボードスロット 6-47
- 上搬送ユニット 1-3
- 裏当て切り換え設定 6-20
- ADFレバー 1-3
- 絵記号の意味 iii
- 液晶のコントラスト設定 6-28
- EJECTキー 6-42
- F1, F2, F3ボタン 1-6, 3-7, 6-42
- エラー
  - ステータス表示 1-7
  - 発生時の詳細表示 3-4
  - メッセージ 3-4
- LED 1-6
- LCD 1-6
  - 表示言語切り換え 6-45
- LCD表示の遷移
  - 通常モードからのモード選択 3-8, 6-3
  - 電源投入時のモード選択 3-9, 6-51
- セットアップモード画面の遷移 6-6
  - ステータスと表示の関係 3-10
- ENTERボタン 1-6, 6-2, 6-50
- OCR用紙 4-2
- オートマティックドキュメントフィーダ (ADF) 1-3
- オプション 5-4
- オプション表示 (テストモード) 6-55
- オペレータガイド 1-1
- オペレータパネル 1-3, 1-5, 3-4

基本操作 3-4

## か行

- 外形寸法 5-1, 5-2
- ガイド板 1-3, 1-4
- カーソルボタン 1-6, 6-2, 6-50
- 環境条件 5-1
- CANCELボタン 1-6, 3-4, 3-6, 6-2, 6-50
- 組み立て部品 1-2
- 警告事項 iv
- 警告・注意マーク ii
- ケーブル接続
  - インタフェース 2-7
  - 電源 2-6
- 原稿
  - サイズ 4-1
  - 紙質 (種類、連量) 4-2
  - 制限 4-5
  - 地色領域 4-7
  - ドロップアウトカラー 4-8
  - 特殊用紙 4-9
- 構成品 1-4
  - チェック 1-1

## さ行

- サイドカバー 1-3
- 差分 6-7
- CD-ROM 1-1
- 事前のご注意 2-1, 3-1
- 下シートガイドASY 1-4
- 斜行チェック設定 6-12
- 重量 5-1
- 仕様 5-1
- 上質紙 4-2
- 小ストップパ 1-3
- 消費電力 5-1
- 消耗品 5-3

- 消耗品アラーム 3-6
  - クリア 3-6
  - 動作 6-24
- 消耗品カウンタ 6-21
  - リセット 6-22
- 白追従モード 6-46
- SCSI
  - IDの設定 6-32
  - インタフェース 2-7
- スキャナ 1-1
- スタッカ 1-3
- スタッカエクステンション 1-3
- スタッカガイド 1-3
- STARTキー 6-42
- ステータス表示の遷移 3-10
- ストッパ 1-1, 1-3
- 製品を安全に使用していただくために i
- 設置仕様 5-1
- セットアップ項目
  - IPC-3モード 6-13
  - LCDコントラスト 6-28
  - LCD表示言語切り換え 6-45
  - 音量(ブザー) 6-25
  - 斜行チェック 6-12
  - 消耗品アラーム動作 6-24
  - 消耗品カウンタ 6-21
  - 消耗品カウンタリセット 6-22
  - 白追従モード 6-46
  - SCSI-ID 6-32
  - セットアップモードロック 6-44
  - ダブルフィードチェック 6-8
  - 手挿入タイムアウト 6-37
  - TP\_IF通信速度 6-30
  - ドロップアウトカラー 6-19
  - 搬送再試行 6-40
  - ピック開始時間 6-36
  - ピックスピード 6-29
  - ピック再試行 6-38
  - ファンクションキー 6-42

- ブザー 6-25
- プレピック 6-34
- プロダクトID 6-33
- ホッパ高さ 6-15
- 用紙厚み 6-10
- 用紙長さチェック 6-7
- 用紙分離力 6-17
- セットアップモード 6-1
  - 起動 6-2
  - 使い方 3-8
  - 内容 6-4
  - ロック 6-44
- 装置エラー 1-7
- 装置構成単位 1-2

## た行

- ダブルフィードチェック設定 6-8
- 注意事項 vi
- CHECK LED 1-6, 3-4
- 著作権に関するご注意 iii
- テスト項目
  - オプション表示 6-55
  - 累計表示 6-56
  - 連続搬送テスト 6-53
- テストモード 6-1
  - 起動 6-50
  - 使い方 3-9
  - 内容 6-52
- 手挿入タイムアウトの設定 6-37
- DATA LED 1-6
- TP\_IF通信速度 6-30
- 電源
  - インレット 1-3
  - ケーブル/接続 1-1, 2-6
  - 主スイッチ 1-3, 2-6, 3-3
  - スイッチ 1-3, 1-6, 3-3
  - 投入 3-3
- 動作状態表示 1-7

ドロップアウトカラー選択 6-19

## な行

入力電源 5-1

## は行

配列 1-5  
はじめに ii  
パターン番号 6-13  
バッチカウンタ 3-6  
パッドユニット 1-3, 1-4, 5-3  
POWER LED 1-6  
搬送再試行設定 6-40  
ピック開始時間 6-36  
ピックスピードの設定 6-29  
ピックミス 6-17, 6-29  
ピック再試行設定 6-38  
ピックローラユニット 1-3, 1-4, 5-3  
ファンクション  
    セットアップモードで 6-1  
    ブラウズモードで 6-1  
ファンクションキー 6-42  
ファンクションボタン 6-42  
    使い方 3-7  
フィード方向 4-1  
ブザー 1-8, 6-25  
ブザーの音量の設定 6-27  
普通紙 4-2  
ブラウズモード 6-1  
    起動 6-2  
    使い方 3-8  
ブレーキローラ 1-3, 1-4, 5-3  
ブレーキの強さ 6-17  
プレピック設定 6-34  
プロダクトIDの設定 6-33  
ボタン 1-6  
ボタンの機能

セットアップ/ブラウズモード 6-2  
テストモード 6-52

ホッパ 1-3  
ホッパエクステンション 1-3  
ホッパガイド 1-3  
ホッパ高さ  
    上げ下げ/調整 3-5  
    設定 6-15

## ま行

前もって注意すること 4-3  
MENUボタン 1-6, 6-2, 6-50  
モード選択  
    (動作可能状態でMENUボタンを押したとき) 6-3  
    (MENUボタンを押しながら電源を入れたとき) 6-51

## や行

用紙  
    厚さ 4-2  
    カール 4-3  
    そり 4-3  
用紙厚み設定 6-10  
用紙長さチェック設定 6-7  
用紙分離力設定 6-17  
読取パラメータ 6-15

## ら行

ラベル

A 2-4

B 2-5

C 2-5

ランプ 1-4, 5-3

ランプユニット 1-4

累計カウンタ 3-6

累計表示 6-56

レバー 1-3

連続搬送テスト 6-53

# 画像処理機能 ユーザースガイド

富士通株式会社



# 目 次

1. 概要.....	1
2. 仕様.....	2
2.1 機能.....	2
3. 画像処理.....	3
3.1 DTC モード.....	3
3.2 IPCモード.....	7
3.3 共通(DTCモード/IPCモード).....	16
付録 A 読み取りパラメータの制限事項.....	18
付録 B 設定例.....	22

## 1. 概要

本装置では、モノクロ読取時に、各種画像処理を使用できるようになっています。

## 2. 仕様

### 2.1 機能

本装置では以下の画像処理機能をサポートしています。

表 2-1 : 画像処理機能

DTC モード <sup>1)</sup>	
プレフィルタ	標準/ボールペン
自動二値濃度カーブ	8 タイプ(感度)
スムージング	イメージ/OCR
ごみ取り	2×2 から 5×5
同値白	ON/OFF
IPC モード <sup>1)</sup>	
簡易自動二値 <sup>2)</sup>	7 段階(感度)
IPC 互換自動二値	7 段階(感度)、高/中/低
自動像域分離	ON/OFF <sup>3)</sup>
輪郭抽出	ON/OFF
輪郭強調 <sup>2)</sup>	強/中/弱
平滑化	背景除去 <sup>4)</sup>
鏡像	ON/OFF
白黒反転	ON/OFF
サブウィンドウ	無視 <sup>5)</sup>
共通	
ズーム(解像度)	50 ~ 400 dpi / 1dpi 単位
ディザダウンロード	最大 8
ガンマダウンロード	最大 8

注 :

- 1) DTC モードと IPC モードの機能の使用は排他的です。
- 2) 簡易自動二値と輪郭強調が同時に指定された場合、IPC 互換自動二値アルゴリズムが機能します。この時、簡易自動二値の感度と輪郭強調の強/中/弱パラメータの両方が影響します。
- 3) 自動像域分離が指定されると簡易自動二値、輪郭強調および平滑化の指定は無視されます。
- 4) 平滑化が指定されると、背景除去が適用されます。
- 5) サブウィンドウは無効です。指定されても無視されます。

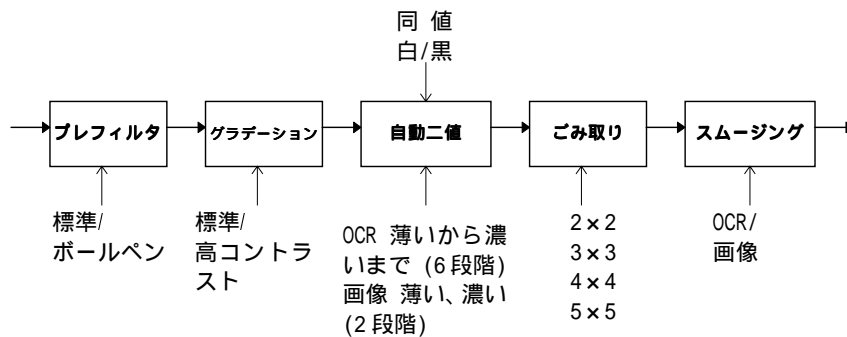
### 3. 画像処理

#### 3.1 DTC モード

DTC モードは富士通の第 1 世代の画像処理 DTC(自動二値回路) オプションと互換性があるモードです。このボードは OCR(文字認識機能)用に、より高品質の画像を読み取れるように設計されました。自動二値アルゴリズムは OCR 認識において重要な特徴を検出するように最適化されていました。

OCR 用途には、DTC モードの使用をお勧めします。

DTC モードでの画像処理フローは以下のとおりです。



DTC モードでの自動二値化アルゴリズムは、IPC モードの簡易自動二値と同じになっています。

注：

- 1) スレッシュホールド、明るさ、コントラストの設定は DTC モードでは無視されます。
- 2) ガンマ補正は DTC モードでは無視されます。

a) プレフィルタ[標準/ボールペン]

プレフィルタは、自動二値処理の前のフィルタリング処理です。

デフォルトは標準フィルタになっています。

ボールペンで書かれている文書の場合、ボールペンの構造上、実際の文字は2本の線になっています。これは、人間が読むにはまったく支障がありませんが、OCRでは誤認識の原因となります。ボールペンフィルタでは、二本の線を一本の太い線に平滑化します。

実行例



標準フィルタ



ボールペンフィルタ

b) 自動二値濃度カーブ[OCR 0:薄い から 5:濃い/画像 6:濃い 7:薄い]

自動二値濃度カーブでは画像の濃度を指定します。

デフォルトは4です。

パラメータ0~7は感度を指定します。0が一番低く、7が一番高くなります。画像がはっきりしない場合は、感度を上げてください。画面にゴミがでる場合は、感度を下げてください。

c) 同値白

同値白は画像レベルがスレッシュホールドと同じ場合の出力値を指定します。

デフォルトはOFF(同値黒)です。

読み取り画像のテキストが太い場合は、ON(同値白)に設定してください。読み取り画像のテキストが細すぎて消えてしまう場合は、OFF(同値黒)を設定してください。ただし、この設定で画像はほとんど変化しません。

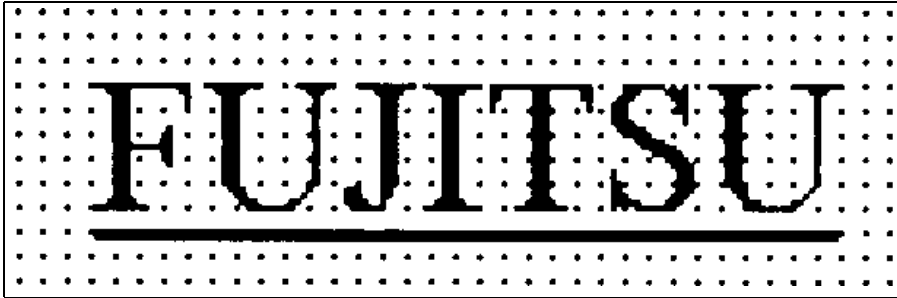
d) ごみ取り[ON/OFF、2×2/3×3/4×4/5×5]

ごみ取りは二値化後のごみを取り除きます。

デフォルトはOFFです。

読み取り画像にごみがある場合は、ごみ取りをONにして除去するごみの大きさを指定してください。2×2とは、2×2以内のドットが取り除かれるということで、5×5とは、5×5以下のドットが取り除かれるということです。すなわち、5×5が指定された場合は、4×4、3×3、および2×2以下のドットが取り除かれます。通常、1つ以上指定する必要はありません。

例



ごみ取り[OFF]

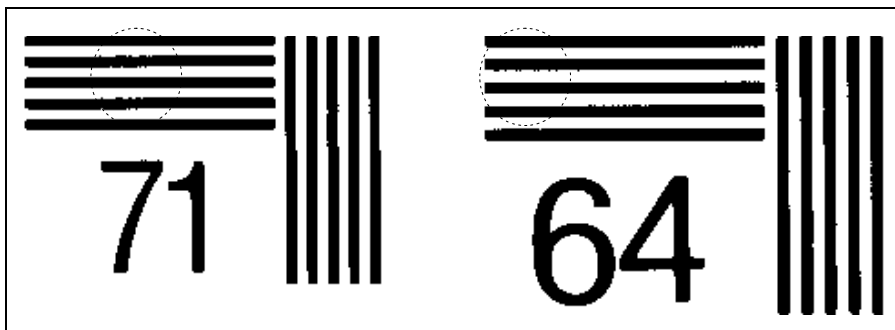


ごみ取り[ON、2×2、3×3、4×4、5×5]

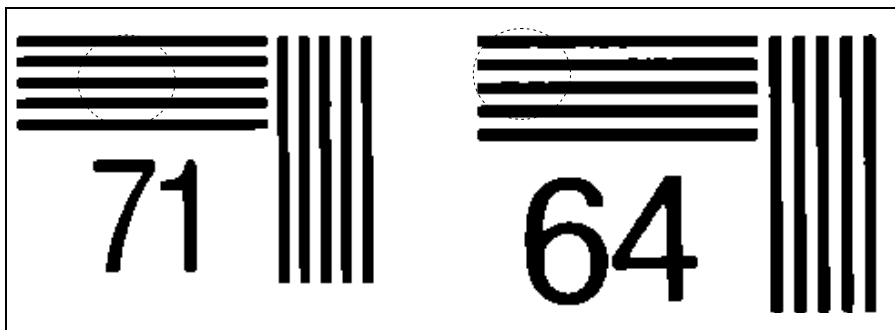
e) スムージング(2値)[イメージ/OCR]

DTCモードでのスムージングは2値スムージングです。テキストの輪郭を滑らかにします。デフォルトはイメージです。イメージスムージングでは、ほとんどスムージングの効果が表れません。低解像度で読み込む時などで、輪郭がギザギザになる場合は、OCRスムージングを指定してください。

実行例



イメージスムージング

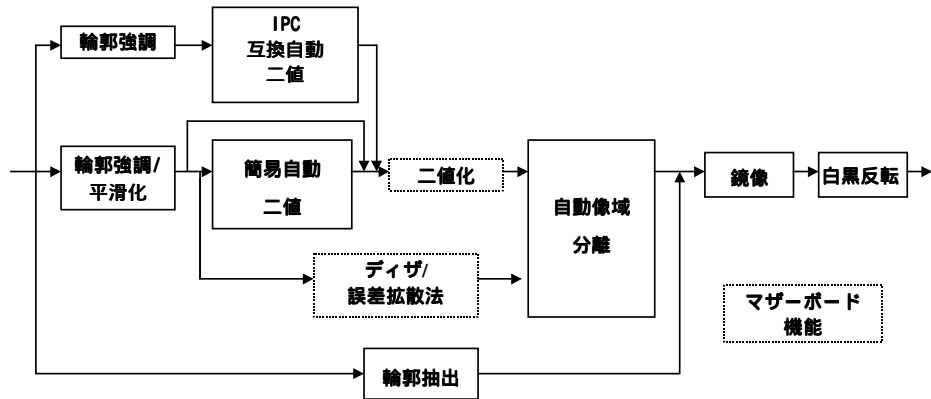


OCRスムージング

### 3.2 IPC モード

IPC モードは、IPC(画像処理回路)オプションと互換性があるいろいろな画像処理機能を提供しています。IPC モードの多くは画像処理機能を含んでいます。これらの機能を組み合わせることによって、色々な種類の原稿をそれに適した品質で読み取ることができます。電子ファイリング用途には、IPC モードをお勧めします。

IPC モードの概念的な画像処理フローは以下のとおりです。



本装置では、簡易自動二値アルゴリズムと、DTC モードの自動二値は同じものです。このモードでは、簡易自動二値化と輪郭強調を同時に設定することで、IPC 互換の自動二値も指定できます。

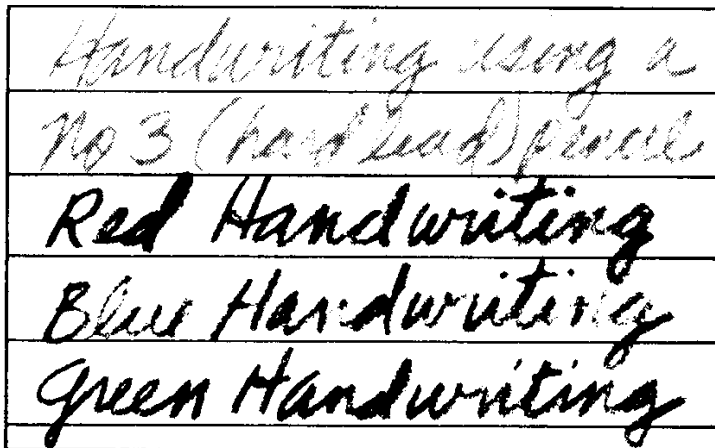
これらの機能は全て、ハードウェア・デフォルトでは無効になっています。



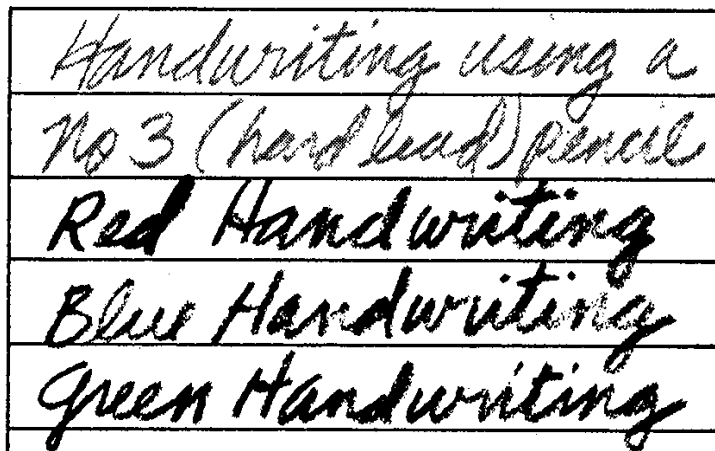
a) 輪郭強調 [強/中/弱/平滑化]

輪郭強調は画像の縁をフィルタにかける、あるいは背景のごみを取り除きます。テキストの縁がはっきりしていなかったり、かすれていたりする場合は、輪郭強調を行ってください。弱では強調が弱くなり、強では強調が強くなります。輪郭強調はごみも強調します。原稿がきれいな場合、強調を強くすると鮮明な画像を得ることができます。本装置では、平滑化は背景除去が機能しますが、これらは似たような効果を得られます。つまり、背景除去は、背景のトーンを取り除く働きをします。例えば、重要文字の背景にディザによるトーンや小さいドットがある場合、これらのトーンやドットを取り除く必要があります。その場合、この機能が有効です。

例1(輪郭強調)

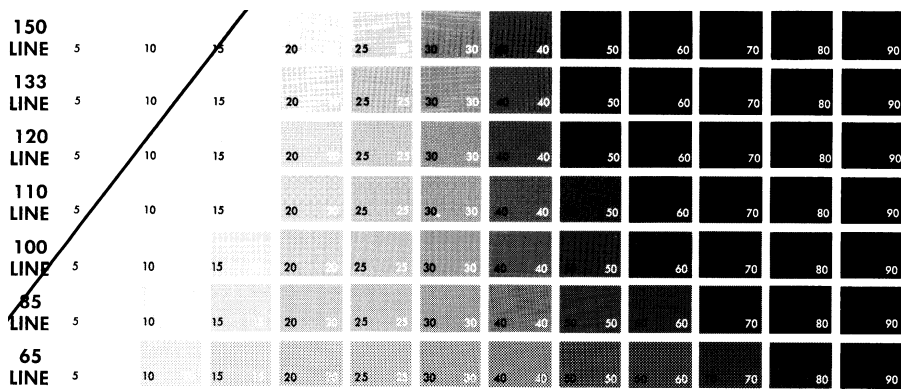


輪郭強調[OFF]

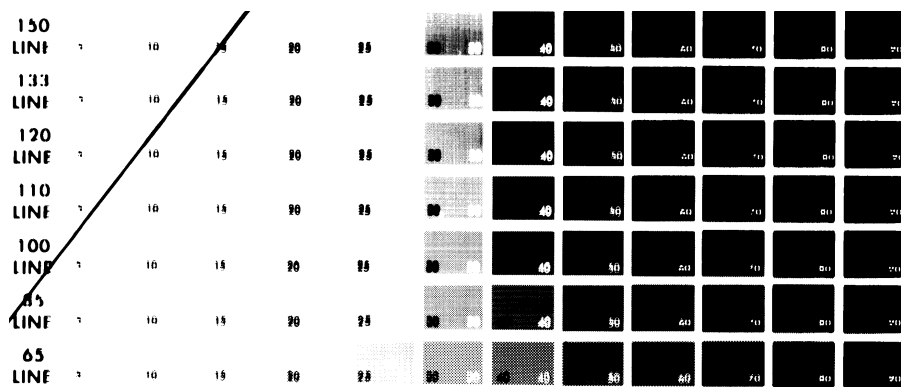


輪郭強調[強]

例2 スムージング(背景除去)



背景除去[OFF]



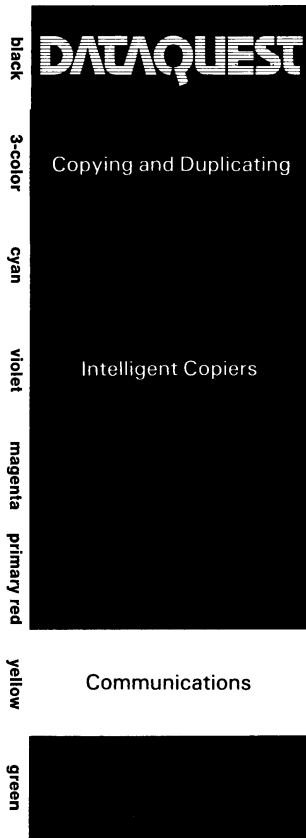
背景除去[ON]

b) 簡易自動二値 [感度 0~7]

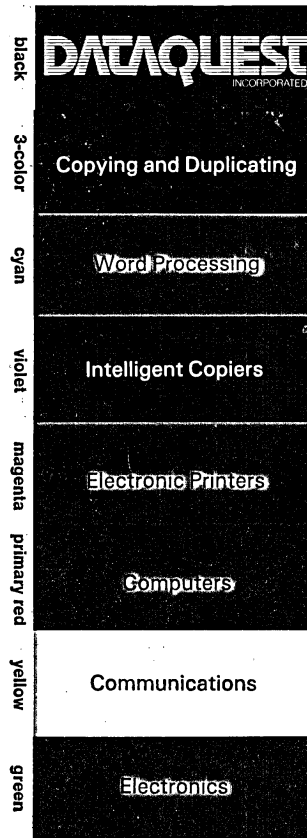
簡易自動二値は鮮明な画質を保ちながら、色付き原稿の文字を読み取る時に使用します。

この機能は輪郭強調と似ています。輪郭強調と異なる点は、背景を強調しないことです。簡易自動二値は、さまざまな用紙、テストチャートなどではなく実際に使用される原稿に自動的に対応します。

例(IPC-3 自動二値)



簡易自動二値[OFF]

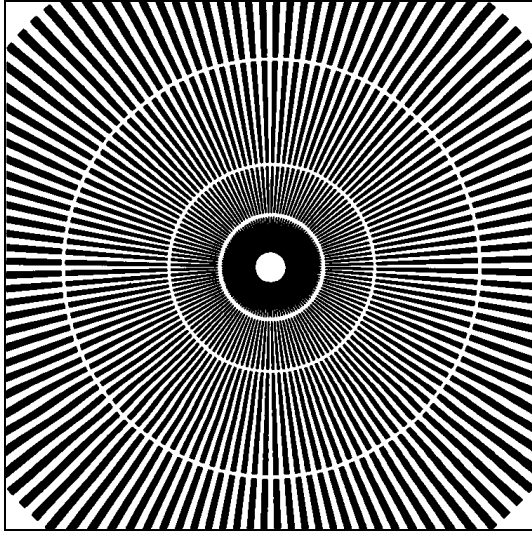


簡易自動二値[感度 : 6]

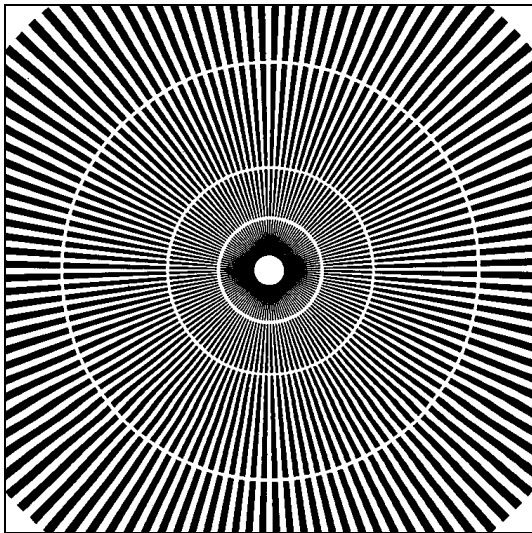
c) IPC 互換自動二値 [SDTC 浮動量 0~7]

IPC-3/3D、IPC-2/2D との互換性を保つために、IPC 互換自動二値をサポートしています。輪郭強調と簡易自動二値の両方が設定された場合は、IPC 互換自動二値が指定されたと見なされます。この場合、IPC-3/3D の簡易自動二値での感度パラメータは浮動量として使用され、輪郭強調パラメータの強/中/弱も適用されます。この自動二値では解像度が向上します。

例



簡易自動二値  
[OFF]



簡易自動二値  
[分散値：7、  
輪郭強調：強]

d) 輪郭抽出 [ON/OFF]

輪郭抽出機能は画像から輪郭を抽出します。実際にこの機能を使用することはあまりありません。DTPなどで画像を装飾したりするときに使用してください。

例



輪郭抽出[OFF]

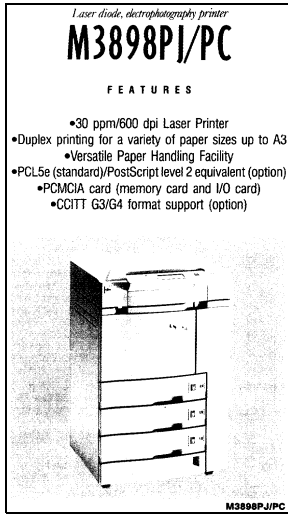


輪郭抽出[ON]

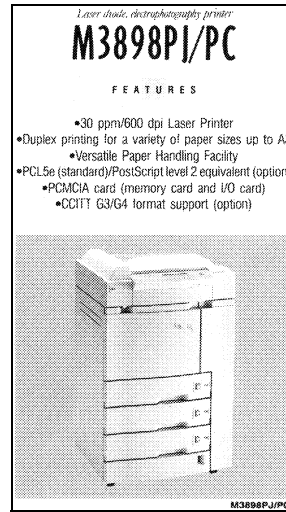
e) 自動像域分離 [ON/OFF]

自動像域分離は一回の読み取りで、写真部とテキスト部を自動的に識別し、写真部にはディザ、テキスト部には2値を適用します。ディザパターンは組み込まれている4つのパターン、ダウンロードしたもの、および誤差拡散法の中から選択することができます。本装置では、他の画像処理を併用できません。この機能はテキスト部と写真部が入り混じった文書を読み取るときに有効です。

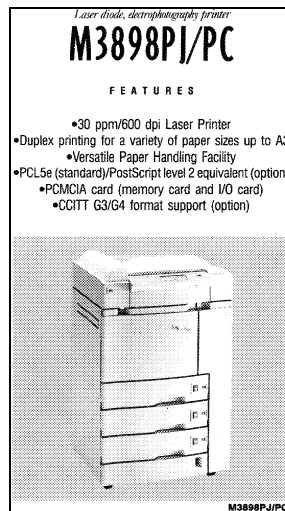
例



二値



ディザ



自動像域分離 [ ON ]

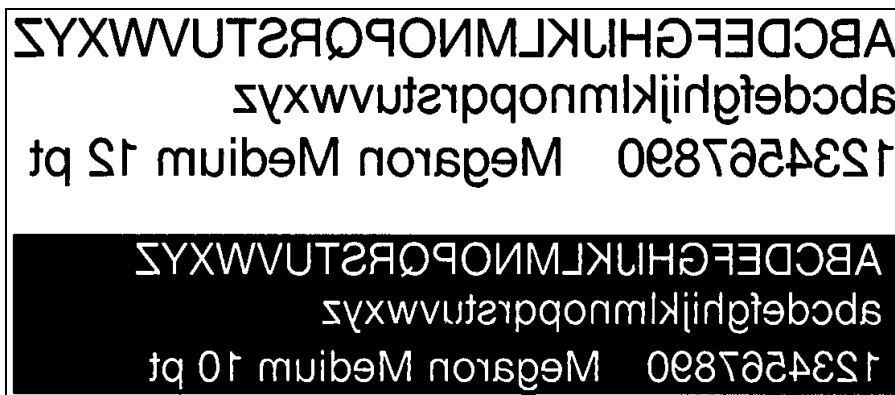
f) 鏡像 [ON/OFF]

鏡像は、画像の左右を反転にします。鏡に映した状態と同じです。  
この機能はDTPで画像を装飾したりするときに使用してください。

例



鏡像[OFF]



鏡像[ON]

g) 白黒反転 [ON/OFF]

白黒反転は画像の黒部分を白に、白部分を黒に変えます。この機能はカメラのフィルムのネガ/ポジに似ています。

この機能はDTPなどで画像を装飾したりするときに使用してください。

例



白黒反転[OFF]



白黒反転[ON]



### 3.3 共通(DTCモード/IPCモード)

#### a) ズーミング

本装置では縦・横変倍はサポートしています。解像度を変更して、出力の解像度と合わせたり、画像を拡大、縮小したりすることができます。このズームは多値処理されるため、ハーフトーンを適用しても画像の鮮鋭さが保たれます。

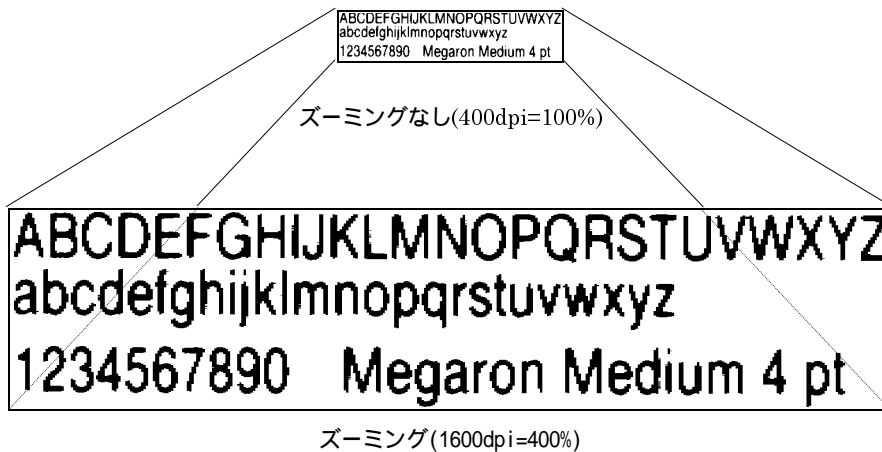
解像度の可変範囲はイメージスキャナによって異なります。

ズームは2値/ハーフトーンとグレースケール読み取りの両方で使用できます。しかしグレースケールでは拡大は使用はできません。

注意：

このズームは電気的な方法であるため、どんなに高い解像度を指定しても、小さい文字や、細い線が読み取れるようになるということはありません。

例



b) ディザ/ガンマ補正パターンダウンロード・ロード

ディザ/ガンマ補正パターンダウンロード・ロードは画像処理ではありませんが、標準の機能を拡張します。

b-1) ディザダウンロード[最大8パターン]

ディザダウンロードはユーザが独自のディザパターンを使用して画像を読み取るためにサポートしています。

ディザについてあまり知らない場合は、組込みディザを使用することをお勧めします。ダウンロードするディザパターンのフォーマットは、デバイスドライバのマニュアルを参照してください。

b-2) ガンマダウンロード[最大8パターン]

ガンマダウンロードはユーザ独自のガンマ補正パターンを使用して画像を読み取るためにサポートしています。ガンマ補正についてあまり知らない場合は、組込みガンマ補正パターンを使用することをお勧めします。

ダウンロードするガンマパターンのフォーマットは、デバイスドライバのマニュアルを参照してください。

## 付録 A 読み取りパラメータの制限事項

画像処理機能には、モードにより、組み合わせの制限があります。モードの関係図と画像処理の組み合わせによる制限を以下の表に示します。



本装置では、文字/線画読み取りでも、**白レベル追従はOFFに設定してください。**  
自動二値アルゴリズムは非常に敏感なため、白レベル追従が設定されていると、背景のノイズが増えます。

表 A-1 : 基本的なスキャナ読み取りパラメータ

基本的なパラメータ			
画像構成	2 値	ハーフトーン	グレースケール
用紙搬送	ADF/FB		
用紙サイズ	表 A-2 を参照		
読取り領域 X	表 A-3 を参照		
読取り領域 Y	表 A-3 を参照		
読取り領域 W	表 A-3 を参照		
読取り領域 L	表 A-3 を参照		
スレッシュホールド	自動 <sup>1)</sup> , 1 ~ 255	無視	
明るさ	自動 <sup>1)</sup> , 1 ~ 255	無視	
コントラスト	自動 <sup>1)</sup> , 1 ~ 255		
解像度 [dpi]	100/150/200/240/300/400		
白レベル追従 <sup>2)</sup>	自動, ON/OFF <sup>2)</sup>		
ガンマ補正	ソフト/標準/シャープ		
ハーフトーン	無視	4 パターン, 誤差拡散法 <sup>3)</sup>	無視
追加機能			
DTC モード(モード 1) <sup>4)</sup>	表 A-4 参照	無視	
IPC モード(モード 2)	表 A-5 参照		無視
可変解像度	50 ~ 400dpi		
ガンマ(ダウンロード)	最大 8		
ハーフトーン (ダウンロード)	無視	最大 8	無視

注 :

- 1) 自動は 128 です。
- 2) 白レベル追従は、デフォルトでは、2 値で ON に、ハーフトーン/グレースケールで OFF になっています。
- 3) ハーフトーンは、自動像域分離が設定されたときに、2 値モードからも参照されます。
- 4) ガンマ補正は DTC モードでは無視されます。

表 A-2 : 使用可能な用紙サイズ

	A7	A6	A5	A4	A3	B5	B4	8.5 × 11	8.5 × 14	11 × 17
fi-4990C	P/L <sup>1)</sup>	P/L <sup>1)</sup>	P/L	P/L	P	P/L	P	P/L	P	P

P: ポートレート、L: ランドスケープ、空白: 使用不可

上の表以外にも、不定型の用紙を使用することができます。

注:

- 1) インタフェース仕様では、標準用紙として定義されていません。

表 A-3 : 読み取り領域[ドット]

	最大 X <sup>1)</sup>	最大 Y <sup>2)</sup>	最大 W <sup>1)</sup>	最大 L <sup>2)3)</sup>
fi-4990C	0 ~ 4864	0 ~ 6912	9 ~ 4864	0 ~ 6912

注:

- 1) X+W の値が W の最大値をこえてはいけません。
- 2) Y+L の値は L の最大値をこえてはいけません。
- 3) SCSI インタフェースを持つスキャナの最大値はメモリサイズのバッファによって制限されます。4,063,232(3E0000H)バイト以下にしてください。

表 A-4 : DTC モードで使用可能なスキャナ読み取りパラメータ

画像構成	2 値	ハーフトーン	グレースケール
プレフィルタ	標準/ ボールペン	無視	無視
グラデーション	標準/ 高コントラスト	無視	無視
自動二値濃度カーブ <sup>1)</sup>	0: OCR 濃い ~ 5: OCR 薄い 6: 画像 薄い 7: 画像 濃い	無視	無視
スムージング	OCR <sup>2)</sup> /イメージ	無視	無視
ごみ取り <sup>3)</sup>	ON/OFF	無視	無視
2 × 2	ON/OFF	無視	無視
3 × 3	ON/OFF	無視	無視
4 × 4	ON/OFF	無視	無視
5 × 5	ON/OFF	無視	無視

注:

- 1) 本装置では、自動二値濃度カーブを 8 段階の感度で設定できます。
- 2) 本装置では、スムージングで OCR が指定されると、ゴミ取りが無視されます。
- 3) ごみ取りは、2 × 2/3 × 3/4 × 4/5 × 5 ドットそれぞれについて ON/OFF を設定できます。

表 A-5 : IPC モードで使用可能な読み取りパラメータ

画像構成	2 値	ハーフトーン	グレースケール
簡易自動二値 <sup>1)4)</sup>	7 段階	無視	無視
自動像域分離 <sup>2)4)</sup>	ON/OFF <sup>3)</sup>		無視
輪郭抽出 <sup>3)4)</sup>	ON/OFF	無視	無視
輪郭強調 <sup>4)</sup>	強/中/弱	強/中/弱	無視
鏡像	ON/OFF		無視
白黒反転	ON/OFF		
サブウィンドウ	無視		無視

注:

- 1) 本装置では、輪郭強調が同時に指定されると、IPC 互換自動二値が動作します。
- 2) 本装置では、自動像域分離が指定されると簡易自動二値、輪郭強調の指定は無視されます。
- 3) SCSI インタフェースを持つスキャナでは、自動像域分離は 2 値およびハーフトーンで異なります。明示的に指定しなければバイナリモードのときは白レベル追従は ON で、ハーフトーンモードのときは白レベル追従は OFF です。
- 4) 輪郭抽出が指定されると、簡易自動二値、自動像域分離、輪郭強調が無視されます。

## 付録 B 設定例

本装置のスキャンングパラメータ設定例を以下に示します。このパラメータはご使用のパーソナルコンピュータやワークステーションの GUI (Graphical User Interface) から設定してください。ダイアログボックスに表示される設定名称と説明は、以下のものとは異なることがあります。GUI メッセージが分かりにくいときは、販売店にお問い合わせください。

デバイスドライバの中には、IPC モードと DTC モードの機能を同時に指定できるものがありますが、どちらか一方だけが有効です。ある機能がモード間で矛盾する場合は、スキャナまたはデバイスドライバがその機能を無視しています。スキャンングの設定が思うようにできない場合は、付録 A に述べられている画像処理組み合わせを参照して調整してください。

以下の設定例では、用紙搬送方法、用紙サイズ、読み取り領域 X/Y/W/L、X/Y 解像度についても記述していますが、画像処理とは直接関係ないため適宜変更して下さい。

例

項目	設定	説明
1	通常の文書 - 1	通常の文書、文字部鮮鋭化
2	通常の文書 - 2	通常の文書、ボールペンの手書き文字
*3	通常の文書 - 3	通常の文書、背景と文字の分離
*4	通常の文書 - 4	通常の文書、手書き文字
5	帳票 - 1	通常の帳票
*6	帳票 - 2	通常の帳票、背景除去
*7	帳票 - 3	NCR の帳票、色つき背景の除去
*8	文書および写真 - 1	雑誌 / カタログ、文字および写真混在
9	文書および写真 - 2	雑誌 / カタログ、文字および写真混在(コピー機風の画像読み取り)

B-1) 通常文書- 1

条件 : 通常の文字  
 用途 : OCR / ファイリング  
 効果 : 文字輪郭を鮮鋭にする。  
 例 : 一般の事務文書 / 帳票 / 新聞、その他

	項目	パラメータ
	用紙サイズ	A4/レター(8.5' x 11')
	読み取り領域 X	0 mm/0 インチ
	読み取り領域 Y	0 mm/0 インチ
	読み取り領域 W	210 mm/8.5 インチ
	読み取り領域 L	297 mm/11 インチ
	X 解像度[ dpi ]	300
	Y 解像度[ dpi ]	300
	画像出力	白黒
	白レベル追従 / 原稿	ON / 線画
	ガンマ	<b>シャープ</b>
	ハーフトーン	パターン 0(無視)
	IPC/DTC モード	<b>IPC</b>
IPC	簡易自動二値	OFF
	自動像域分離	OFF
	輪郭抽出	OFF
	輪郭強調	<b>中</b>
	鏡像	OFF
	白黒反転	OFF
	サブウィンドウ	OFF

設定で注意すべきポイント:

鮮明でない場合は、輪郭強調を「強」にしてください。ノイズが多い場合は、「弱」にしてください。

ノイズが多い場合は、白レベル追従を「OFF」にしてください。



B-2) 通常文書－ 2

- 条件 : 白地に白黒印刷物または手書き (ボールペン) 文字  
 用途 : OCR  
 効果 : 文字認識用にボールペン文字を平滑化する。  
 例 : ワープロ出力、白黒帳票、きれいなコピー

	項目	パラメータ
	用紙サイズ	A4/レター(8.5'×11')
	読み取り領域 X	0 mm/0 インチ
	読み取り領域 Y	0 mm/0 インチ
	読み取り領域 W	210 mm/8.5 インチ
	読み取り領域 L	297 mm/11 インチ
	X 解像度 [dpi]	300
	Y 解像度 [dpi]	300
	画像出力	白黒
	白レベル追従 / 原稿	<b>OFF / 写真</b>
	ガンマ	標準 (無視)
	ハーフトーン	パターン 0 (無視)
	IPC/DTC モード	<b>DTC</b>
DTC	フィルタ	<b>ボールペン</b>
	自動二値濃度カーブ	<b>4</b>
	スムージング	画像
	ごみ取り	<b>ON</b>
	ごみ取り 2×2	<b>ON</b>
	ごみ取り 3×3	OFF
	ごみ取り 4×4	OFF
	ごみ取り 5×5	OFF
	同値	白

設定で注意すべきポイント:

鮮明でない場合は、自動二値濃度カーブを高くしてください。ノイズが多い場合は、低くしてください。

B-3) 通常文書－ 3

条件 : 色つき原稿のくすんだ文字  
 用途 : ファイリング  
 効果 : 背景から文字を分離する。  
 例 : 一般のカラー文書 / 帳票、その他

	項目	パラメータ
	用紙サイズ	A4/レター(8.5'×11')
	読み取り領域X	0 mm/0 インチ
	読み取り領域Y	0 mm/0 インチ
	読み取り領域W	210 mm/8.5 インチ
	読み取り領域L	297 mm/11 インチ
	X 解像度[ dpi ]	300
	Y 解像度[ dpi ]	300
	画像出力	白黒
	白レベル追従 / 原稿	<b>OFF / 写真</b>
	ガンマ	標準
	ハーフトーン	パターン 0(無視)
	IPC/DTC モード	<b>IPC</b>
IPC	簡易自動二値	<b>4 (または 128 ~ 159/255)</b>
	自動像域分離	OFF
	輪郭抽出	OFF
	輪郭強調	OFF
	鏡像	OFF
	白黒反転	OFF
	サブウィンドウ	OFF

設定で注意すべきポイント:

鮮明でない場合は、簡易自動二値を高くしてください。ノイズが多い場合は、低くしてください。

鮮明でない場合は、輪郭強調を「強」にしてください。ノイズの多い場合は、「弱」にしてください。

B-4) 通常文書－ 4

条件 : 白地原稿への白黒印刷または手書き文字  
 用途 : OCR  
 効果 : 解像度を改善し、細部を読み取る。  
 例 : きれいなコピー。細かい文字

	項目	パラメータ
	用紙サイズ	A4/レター(8.5'×11')
	読み取り領域X	0 mm/0 インチ
	読み取り領域Y	0 mm/0 インチ
	読み取り領域W	210 mm/8.5 インチ
	読み取り領域L	297 mm/11 インチ
	X 解像度[ dpi ]	300
	Y 解像度[ dpi ]	300
	画像出力	白黒
	白レベル追従 / 原稿	<b>OFF / 写真</b>
	ガンマ	シャープ
	ハーフトーン	パターン 0(無視)
	IPC/DTC モード	<b>IPC</b>
IPC	簡易自動二値	<b>4 (または 128 ~ 159/255)</b>
	自動像域分離	OFF
	輪郭抽出	OFF
	輪郭強調	<b>弱</b>
	鏡像	OFF
	白黒反転	OFF
	サブウィンドウ	OFF

設定で注意すべきポイント:

鮮明でない場合は、簡易自動二値を高くしてください。ノイズが多い場合は、低くしてください。

鮮明でない場合は、輪郭強調を「強」にしてください。ノイズが多い場合は、「弱」にしてください。

B-5) 帳票 - 1

条件 : 色つき原稿に白黒での印刷または手書き文字  
 用途 : 文書 / OCR  
 効果 : 薄い文字の読み取りとごみ取り  
 例 : カラー帳票、白地原稿上の文字

	項目	パラメータ
	用紙サイズ	A4/レター(8.5'×11')
	読み取り領域 X	0 mm/0 インチ
	読み取り領域 Y	0 mm/0 インチ
	読み取り領域 W	210 mm/8.5 インチ
	読み取り領域 L	297 mm/11 インチ
	X 解像度 [dpi]	300
	Y 解像度 [dpi]	300
	画像出力	白黒
	白レベル追従 / 原稿	<b>OFF / 写真</b>
	ガンマ	標準
	ハーフトーン	パターン 0(無視)
	IPC/DTC モード	DTC
DTC	フィルタ	標準
	自動二値濃度カーブ	<b>6</b>
	スムージング	画像
	ごみ取り	<b>ON</b>
	ごみ取り 2x2	<b>ON</b>
	ごみ取り 3x3	OFF
	ごみ取り 4x4	OFF
	ごみ取り 5x5	<b>ON</b>
	同値	白

設定で注意すべきポイント:

鮮明でない場合は、自動二値濃度カーブを高くしてください。ノイズが多い場合は、低くしてください。

ごみ取りが 5x5 または 4x4 の場合は、大きなごみを取るようになしてください。3x3 または 2x2 の場合は、小さなごみを取るようになしてください。鮮鋭さが失われる場合は、大面積のごみ取りを OFF にしてください。

B-6) 帳票－ 2

条件 : 色つき原稿の薄い文字  
 用途 : ファイリング  
 効果 : 薄い文字の読み取りと背景色のドロップアウト  
 例 : カラー帳票、カーボンコピー

	項目	パラメータ
	用紙サイズ	A4/レター(8.5'×11')
	読み取り領域 X	0 mm/0 インチ
	読み取り領域 Y	0 mm/0 インチ
	読み取り領域 W	210 mm/8.5 インチ
	読み取り領域 L	297 mm/11 インチ
	X 解像度[ dpi ]	300
	Y 解像度[ dpi ]	300
	画像出力	白黒
	白レベル追従/原稿	<b>OFF / 写真</b>
	ガンマ	シャープ
	ハーフトーン	パターン 0(無視)
	IPC/DTC モード	<b>IPC</b>
IPC	簡易自動二値	<b>6 (または 192 ~ 223/255)</b>
	自動像域分離	OFF
	輪郭抽出	OFF
	輪郭強調	<b>平滑化</b>
	鏡像	OFF
	白黒反転	OFF
	サブウィンドウ	OFF

設定で注意すべきポイント:

鮮明でない場合は、簡易自動二値を高くしてください。ノイズが多い場合は、低くしてください。それでもノイズが多い場合は、ガンマをノーマルまたはソフトに設定してください。

B-7) 帳票 - 3

条件 : NCR 帳票または背景がカラーの帳票  
 用途 : OCR / ファイリング  
 効果 : NCR 帳票の色つき背景の除去  
 例 : NCR 帳票、色つき原稿上の文字

	項目	パラメータ
	用紙サイズ	A4/レター(8.5'×11')
	読み取り領域X	0 mm/0 インチ
	読み取り領域Y	0 mm/0 インチ
	読み取り領域W	210 mm/8.5 インチ
	読み取り領域L	297 mm/11 インチ
	X 解像度[ dpi ]	300
	Y 解像度[ dpi ]	300
	画像出力	白黒
	白レベル追従 / 原稿	<b>OFF / 写真</b>
	ガンマ	標準
	ハーフトーン	パターン 0(無視)
	IPC/DTC モード	<b>IPC</b>
IPC	簡易自動二値	<b>2(または 64 ~ 95/255)</b>
	自動像域分離	OFF
	輪郭抽出	OFF
	輪郭強調	<b>平滑化</b>
	鏡像	OFF
	白黒反転	OFF
	サブウインドウ	OFF

設定で注意すべきポイント:

鮮明でない場合は、自動二値濃度カーブを高くしてください。ノイズが多い場合は、低くしてください。

背景と文字が分離できない場合は、自動二値濃度カーブを「OFF」にし、スレッシュホールドを 32 ~ 64/255 の範囲に調整してください。

B-8) 文書および写真－ 1

条件 : 文字および写真 (グレースケールの写真)  
 用途 : 文書  
 効果 : 写真部をハーフトーンにし、文字部を二値化  
 例 : 雑誌 / カタログ

	項目	パラメータ
	用紙サイズ	A4/レター(8.5'×11')
	読み取り領域 X	0 mm/0 インチ
	読み取り領域 Y	0 mm/0 インチ
	読み取り領域 W	210 mm/8.5 インチ
	読み取り領域 L	297 mm/11 インチ
	X 解像度 [dpi]	400
	Y 解像度 [dpi]	400
	画像出力	白黒
	白レベル追従 / 原稿	<b>OFF / 写真</b>
	ガンマ	<b>シャープ</b>
	ハーフトーン	パターン 0
	IPC/DTC モード	<b>IPC</b>
IPC	簡易自動二値	OFF
	自動像域分離	<b>ON</b>
	輪郭抽出	OFF
	輪郭強調	<b>OFF</b>
	鏡像	OFF
	白黒反転	OFF
	サブウィンドウ	OFF

設定で注意すべきポイント:

写真の画質を優先する場合は、ハーフトーン 0 または 2 を選んでください。文字の画質を優先する場合は、ハーフトーン 1 または 3 を選んでください。

B-9) 文書および写真 - 2

- 条件 : 文字および写真 (網点画像)  
 用途 : コピー / プリント印刷物  
 効果 : 写真の中の文字を読み取る。  
 例 : 雑誌 / カタログ (複写機風の読み取り)、新聞

	項目	パラメータ
	用紙サイズ	A4/レター(8.5' x 11')
	読み取り領域 X	0 mm/0 インチ
	読み取り領域 Y	0 mm/0 インチ
	読み取り領域 W	210 mm/8.5 インチ
	読み取り領域 L	297 mm/11 インチ
	X 解像度 [dpi]	400
	Y 解像度 [dpi]	400
	画像出力	白黒
	白レベル追従 / 原稿	OFF / 写真
	ガンマ	シャープ
	ハーフトーン	パターン 0
	IPC/DTC モード	DTC
DTC	フィルタ	標準
	自動二値濃度カーブ	7
	スムージング	OCR
	ごみ取り	ON
	ごみ取り 2x2	ON
	ごみ取り 3x3	ON
	ごみ取り 4x4	ON
	ごみ取り 5x5	ON
等価	白	

設定で注意すべきポイント:

- ノイズが多い場合は、自動二値濃度カーブを低くしてください。  
 ごみ取りが 5x5 または 4x4 の場合は、大面積のごみを取るようになしてください。3x3 または 2x2 の場合は、小面積のごみを取るようになしてください。鮮鋭さが失われる場合は、大面積のごみを取りを OFF にしてください。  
 大面積のごみが取れない場合は、解像度を低くしてください。



# 修理・お問い合わせについて

お客様のスキャナを保守する方法には以下の二通りがございます。

## 契約サービス

専門の技術員が定期的にお客様を訪問しスキャナを保守します。

富士通では、お客様に安心してイメージスキャナをご使用いただけるよう購入時にご加入いただく契約サービスをおすすめしております。契約サービスの詳しい内容につきましては、ご担当の販売員にお問い合わせください。

## スポットサービス

契約サービスをご購入なされなかった場合の修理・お問い合わせはこちらの方法になります。

必要な時にその都度ご利用いただける「有償によるスポットサービス」によりお客様をサポートいたします。お客様のイメージスキャナに故障が発生しましたら下記窓口にお問い合わせください。

### スポットサービスについて

**お問い合わせ窓口：PrintPartnerサービスセンター**

**フリーダイヤル： 0120-80-1741**

**受付時間： 月～金 / 9:00から17:00**

**(土・日・祝祭日・年末年始を除く)**

**お願い** イメージスキャナに添付しております「お客様登録カード」に必要事項をご記入のうえご返送ください。登録カードをご返送いただいたお客様にはイメージスキャナお買い上げ日から6ヶ月間の無償サービスをご提供させていただきます。

FUJITSU



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。